学校コード F128310108954

設置年度　　令和　　元年度

計画の区分：　学部の設置

注１

届出

関西国際大学　国際コミュニケーション学部　英語コミュニケーション学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人濱名山手学院
令和4年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　学長室

職名・氏名　担当課長（タントウカチョウ）・石川（イシカワ）　裕章（ヒロアキ）

電話番号　0794-84-3500

（夜間）　0794-84-3500

ｅ－mail　pres-sec@kuins.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和３年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際コミュニケーション学部

＜英語コミュニケーション学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　44
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　45

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人濱名山手学院

（2）大　学　名

関西国際大学

（3）調査対象大学等の位置

〒650-0006
兵庫県神戸市中央区諏訪山3番1号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ ハマナ アツシ ） 濱名　篤 （平成18年6月）		
学　　長	（ ハマナ アツシ ） 濱名　篤 （平成17年4月）		
学 部 長	（ﾜﾀﾅﾍﾞ ﾖﾘｽﾞﾐ） 渡邊　頼純 （令和元年4月）		
学科長等	（ｺｼﾔﾏﾞ ﾔｽｺ） 越山　泰子 （令和元年4月）	（ｼﾞｮﾅｻﾝ ｱﾘﾎﾟﾝｶﾞ） J.Aliponga （令和4年4月）	

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・　様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科 学士（英語学）	文学関係	4年	人 50	一　年次 人	人 200		令和3年4月収容定員変更 (200→300)

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度			令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人	人	人 50 （－） ［－］	人	人 50 （－） ［－］	人	人 75 （－） ［－］	人	人 75 （－） ［－］	人	0.88 倍	—	
志願者数			383 （－） ［27］	1 （－） ［1］	383 （－） ［11］	0 （－） ［－］	322 （－） ［14］	0 （－） ［－］	206 （5） ［9］				
受験者数			362 （－） ［27］	1 （－） ［1］	351 （－） ［10］	0 （－） ［－］	290 （－） ［13］	0 （－） ［－］	181 （5） ［9］				
合格者数			84 （－） ［9］	1 （－） ［1］	134 （－） ［6］	0 （－） ［－］	232 （－） ［12］	0 （－） ［－］	165 （5） ［9］				
Ｂ　入学者数			55 （－） ［5］	1 （－） ［1］	51 （－） ［4］	0 （－） ［－］	59 （－） ［12］	0 （－） ［－］	47 （4） ［9］				
入学定員超過率 Ｂ／Ａ			1.10		1.02		0.79		0.63				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年			令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次			55 [5] (－)	1 [1] (－)	51 [5] (－)	0 [－] (－)	59 [12] (－)	0 [－] (－)	47 [6] (－)	0 [-] (－)	
２年次					46 [4] (－)	1 [1] (－)	48 [5] (－)	0 [－] (－)	54 [12] (－)	0 [-] (－)	
３年次							45 [5] (－)	1 [1] (－)	48 [8] (－)	0 [-] (－)	
４年次									44 [5] (－)	1 [1] (－)	
計			56 [6] (－)		98 [10] (－)		153 [23] (－)		194 [32] (－)		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	59 人	9 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	9 人	2 人	修学意欲の低下(3人),進路変更（他教育機関）[1人],進路変更（就職）(1人)[1人]、,経済的困窮 （3人）
令和2年度	98 人	4 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	2 人	0 人	修学意欲の低下(2)
			令和2年度	2 人	0 人	進路変更（就職)(2)
令和3年度	153 人	9 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	1 人	0 人	進路変更（他教育機関)(1)
			令和2年度	1 人	0 人	修学意欲の低下(1)
			令和3年度	7 人	0 人	修学意欲の低下（2人）、進路変更（他教育機関）[3人],進路変更（就職）(1人)、経済的困窮 （1人）
令和4年度	194 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		22 人		22 人	2 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} =$ #DIV/0! %

【令和元年度】

$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{59} =$ 15.25 %

【令和2年度】

$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{98} =$ 4.08 %

【令和3年度】

$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{153} =$ 5.88 %

【令和4年度】

$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{194} =$ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部　英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	英語基礎1	1春		2		1					
	リーディング1	1春		2				1			
	ライティング1	1春		2			1				1
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2			1				
	英語基礎2	1春・秋		2			1				1
	リーディング2	1春・秋		2			1				1
	ライティング2	1春・秋		2			1				
	オーラル・コミュニケーション2	1春・秋		2			1				1
	英語総合1	1春・秋	2				1				
	リーディング総合1	1春・秋	2				1				
	ライティング総合1	1春・秋	2			1					1
	アドバンスト・コミュニケーション1	1春・秋	2				1				
	英語総合2	1春・秋	2								1
	リーディング総合2	1春・秋	2			1					
	ライティング総合2	1春・秋	2								1
	アドバンスト・コミュニケーション2	1春・秋	2			1					

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	英語基礎1	1春		2							2
	リーディング1	1春		2		1					1
	ライティング1	1春		2							2
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2							2
	英語基礎2	1秋		2							2
	リーディング2	1秋		2		1					2
	ライティング2	1秋		2							2
	オーラル・コミュニケーション2	1秋		2							2
	英語総合1	1春	2			1					2
	リーディング総合1	1春	2			1					2
	ライティング総合1	1春	2			2					1
	アドバンスト・コミュニケーション1	1春	2			1					1
	英語総合2	1秋	2			1					1
	リーディング総合2	1秋	2								1
	ライティング総合2	1秋	2			1					
	アドバンスト・コミュニケーション2	1秋	2								1

	アカデミック英語	2春		2		1					
	グローバル事情	2春		2		1					
	総合英語Ⅰ	1春		2			1				
	総合英語Ⅱ	1秋		2			1				
	総合英語Ⅲ	2春		2			1				
	総合英語Ⅳ	3春		2			1				
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1			1				
	インテンシブイングリッシュⅡ	1冬		1			1				
	インテンシブイングリッシュⅢ	1夏		1			1				
	小計(25科目)	－	16	31	0	2	4	1	0	0	3
基幹科目	異文化理解	1秋	2								1
	経済学基礎	1夏	2								1
	国際関係	2春	2								1
	アジア研究	2春		2			1				
	日本研究	1秋		2							1
	言語と文化	2春		2			1				
	文化人類学	1秋		2			1				
	経営学概論	3秋		4							1
	小計(8科目)	－	6	12	0	0	1	0	0	0	5
	課題研究(グローバルリサーチ)	2秋	16			2					
	日本のポップカルチャー	2春		2			1				
	日本文学	2春		2							1
	経済学概論	3春		4							1
	マーケティング	3春		4							1
	ファイナンス	3秋		4							1
	実践ビジネス英語Ⅰ	3春		2							1
	実践ビジネス英語Ⅱ	3秋		2							1
	ビジネスプレゼンテーション	2春		2							1

	アカデミック英語	2春		2							1
	グローバル事情	2春		2		1					
	総合英語Ⅰ	1春		2							1
	総合英語Ⅱ	1秋		2							1
	総合英語Ⅲ	2春		2							1
	総合英語Ⅳ	3春		2							1
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1							1
	インテンシブイングリッシュⅡ	1夏		1							1
	インテンシブイングリッシュⅢ	1冬		1							1
	国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ概論	1春	2			1					
	小計(25科目)	－	18	31	0	7	0	0	0	0	12
基幹科目	異文化理解	1秋	2								1
	経済学基礎	1秋	2								1
	国際関係	2春	2			1					
	国際協力ｷｬﾘｱ論	1秋	2								1
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰ論	2春		2		1					
	共生社会論	2春		2							1
	アジア研究	2春		2		1					
	日本研究	1秋		2							1
	言語と文化	2春		2		1					
	文化人類学	1秋		2		1					
	経営学概論	3春		4							1
	小計(8科目)	－	8	16	0	3	0	0	0	0	5
	課題研究(グローバルリサーチ)	2秋	16			4					
	日本のポップカルチャー	2春		2		1					
	日本文学	2春		2							1
	経済学概論	3春		4							1
	国際経済論	3秋		2		1					
	マーケティング	3春		4							1
	アジアマーケティング論	3秋		2							1
	ファイナンス	3秋		4							1
	ビジネス統計学	2春		4							1
	国際通商法	3秋		2		1					
	国際経営論(未開講)	4春		2							
	インバウンドツーリズム産業論	3秋		2							1
	実践ビジネス英語Ⅰ	3春		2							1
	実践ビジネス英語Ⅱ	3秋		2							1
	ビジネスプレゼンテーション	2春		2							1

	ホスピタリティマネジメント	3秋		4							1			ホスピタリティマネジメント	3秋		4							1
	ビジネスマナー	3春		2							1			ビジネスマナー（未開講）	3春		2							1
展	航空実務	3春		4							1		展	航空実務	3春		4							1
開	ホテル実務	2春		4							1		開	ホテル実務	2春		4							1
科	ツーリズム事情Ⅰ	3春		2							1		科	ツーリズム事情Ⅰ（未開講）	3春		2							
目	ツーリズム事情Ⅱ	3秋		2							1		目	ツーリズム事情Ⅱ（未開講）	3秋		2							
	ツアーガイド実務	3秋		4							1			ツアーガイド実務	3秋		4							1
	通訳入門	2春		2							1			通訳入門	2春		2							1
														社会学概論	1春		2							1
	サービスラーニングⅠ	1春～秋		2		1								サービスラーニングⅠ	1春～秋		2		2					
	サービスラーニングⅡ	2春		2		1								サービスラーニングⅡ	3夏		2		1					
	インターンシップⅠ	1夏		1		1								インターンシップⅠ	1夏・冬		1		2					
	インターンシップⅡ	1夏		2		1								インターンシップⅡ	1夏・冬		2		2					
	インターンシップⅢ	1夏		4		1								インターンシップⅢ	1夏・冬		4		2					
	言語学概論	2春		2			1							言語学概論	2春		2		1					
	日本語の構造Ⅰ	1春		2			1							日本語の構造Ⅰ	1春		2		1					
	日本語の構造Ⅱ	1秋		2			1							日本語の構造Ⅱ	1秋		2		1					
	日本語教育事情	2春		2			1							日本語教育事情	2春		2		1					
	日本語コミュニケーション	2春		2		1								日本語コミュニケーション	3秋		2		1					
	日本語教授法	3春		2		1								日本語教授法	3春		2		1					
	日本語教育の実践と評価	3秋		2		1								日本語教育の実践と評価	3秋		2		1					
	英語音声学	3秋		2		1								英語音声学	3秋		2		1					
	英語学Ⅰ	1春		2		1								英語学Ⅰ	1春		2		1					
	英語学Ⅱ	1秋		2		1								英語学Ⅱ	1秋		2		1					
	英米文学概論	2夏		2							1			英米文学概論	2夏		2							1
	英語科教育法Ⅰ	2春		2		1								英語科教育法Ⅰ	2春		2		1					
	英語科教育法Ⅱ	3春		2		1								英語科教育法Ⅱ（未開講）	3春		2		1					
	英語科教育法Ⅲ	3秋		2		1								英語科教育法Ⅲ	3秋		2		1					
	英語科教育法Ⅳ	3冬		2		1								英語科教育法Ⅳ	3冬		2		1					
	教育学概論	1春		2							1			教育学概論	1春		2							1
	教職概論	2春			2						1			教職概論	2春			2						1
	教育社会学	2春		2							1			教育社会学	3春		2							1
	学校経営論	2春		2							1			学校経営論	2春		2							1
	教育制度論	3秋		2							1			教育制度論（未開講）	3秋		2							
	教育心理学	2春		2							1			教育心理学	3秋		2							1
	発達心理学	1春		2							1			発達心理学	1秋		2							1
	特別支援教育基礎	2夏			1						1			特別支援教育基礎	2夏			1						1
展	教育課程論	3秋			2						1		展	教育課程論	3秋			2						1
開	道徳教育の指導法	2冬			2						1		開	道徳教育の指導法	2冬			2						1
科	総合的な学習の時間の指導法	2冬			1						1		科	総合的な学習の時間の指導法	2夏			1						1
目	特別活動の指導法	2春			2						1		目	特別活動の指導法	2春			2						1
	教育方法論	2秋			2						1			教育方法論	3秋			2						1
	教育相談	3春		2							1			教育相談	3春		2							1
	生徒・進路指導論	3秋			2						1			生徒・進路指導論	3秋			2						1

		教育実習Ⅰ	3秋～4春			5	1									教育実習Ⅰ	3夏～4春			5	1					
		教育実習Ⅱ	3秋～4春			3	1									教育実習Ⅱ	3夏～4春			3	1					
		教職実践演習（中・高）	4秋			2	1									教職実践演習（中・高）	4秋			2	1					
		ボランティア実習	3春			2						1				ボランティア実習	3春			2						1
		英文法研究	2春		2		1									英文法研究（英文法研究）	2春		2		1					
		英語発音クリニック	2春		2		1									英語発音クリニック（未開講）	2春		2		1					
		児童英語	3春		2		1									児童英語（未開講）	3春		2		1					
		小計（59科目）	－	16	107	26	4	2	0	0	0	20				小計（66科目）	－	16	123	26	11	0	0	0	0	22
総合演習		専門演習Ⅰ	2春	2			2						総合演習			専門演習Ⅰ	2春	2			4					
		専門演習Ⅱ	3春	2			1	2								専門演習Ⅱ	3春	2			2					
		専門演習Ⅲ	3秋	2			2	1								専門演習Ⅲ	3秋	2			2					
		卒業研究	4通	4			2	1								卒業研究	4通	4			7					
		小計（4科目）	－	10	0	0	4	3	0	0	0	0				小計（4科目）	－	10	0	0	11	0	0	0	0	0
基盤教育科目	KUISベーシック	評価と実践Ⅰ	1～2	1			2						基盤教育科目	KUISベーシック		評価と実践Ⅰ	1～2	1			8					
		評価と実践Ⅱ	3～4	1			1	1								評価と実践Ⅱ	3～4	1			8					
		リーダーシップ演習	1冬		1							1				リーダーシップ演習	1冬		1							
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2春	2					1			1				仕事とキャリア形成Ⅰ	2春	2								1
		仕事とキャリア形成Ⅱ	3秋		2				1			1				仕事とキャリア形成Ⅱ	3秋		2							1
		初年次セミナー	1春	1			2									初年次セミナー	1春	1			4					
		基礎演習	1秋	1			2									基礎演習	1秋	1			4					
		学習技術	1春	1					1							学習技術	1春	1			2					
		リサーチ入門	1夏	1								1				リサーチ入門	1冬	1								1
		小計(9科目)	－	8	3	0	3	1	1	0	0	3				小計(9科目)	－	8	3	0	11	0	0	0	0	2
		第2外国語（その他の外国語）	中国語Ⅰ	1春		2			1							第2外国語（その他の外国語）	中国語Ⅰ	1春		2		1					
			中国語Ⅱ	1秋		2			1								中国語Ⅱ	1秋		2		1					
			韓国・朝鮮語Ⅰ	1春		2						1					韓国・朝鮮語Ⅰ	1春		2							1
			韓国・朝鮮語Ⅱ	1秋		2						1					韓国・朝鮮語Ⅱ	1秋		2							1
																	マレー語	2春		1							
																	インドネシア語	2春		1							1
			日本語Ⅰ	1春		2						1					日本語Ⅰ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅱ	1秋		2						1					日本語Ⅱ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅲ	1春		2						1					日本語Ⅲ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅳ	1秋		2						1					日本語Ⅳ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅴ	1春		2			1								日本語Ⅴ	1春・秋		2							1

基盤教育科目	コモンベーシックス	留学生対象の日本語	アカデミック日本語Ⅰ	1春		1		1					1		基盤教育科目	コモンベーシックス	留学生対象の日本語	アカデミック日本語Ⅰ	2春		1							1
			アカデミック日本語Ⅱ	1秋		1		1										アカデミック日本語Ⅱ	2秋		1							1
			日本語ライティングⅠ	1春		1							1					日本語ライティングⅠ（未開講）	2春		1							1
			日本語ライティングⅡ	1秋		1			1									日本語ライティングⅡ	2秋		1							1
			ビジネス日本語Ⅰ	1春		1							1					ビジネス日本語Ⅰ	2春		1							
			ビジネス日本語Ⅱ	1春		1							1					ビジネス日本語Ⅱ	2春		1							1
			専門日本語Ⅰ	1秋		1							1					専門日本語Ⅰ	2秋		1							
			専門日本語Ⅱ	1秋		1							1					専門日本語Ⅱ	2秋		1							1
		情報	ICTリテラシー	1春		2				1							情報	ICTリテラシー	1春	2			1					1
																		データサイエンス	1秋	2								1
			ICT活用A	1秋		2							1					ICT活用A	1秋		2							1
		健康とスポーツ	生涯スポーツⅠ	1夏		1							1					生涯スポーツⅠ	1夏		1							1
			生涯スポーツⅡ	1冬		1							1					生涯スポーツⅡ	1冬		1							1
		小計（21科目）		－	0	32	0	1	2	1	0	0	4				小計（21科目）		－	4	32	0	2	0	0	0	0	13
	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	1秋	2								3			リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	1秋	2								3
			人間学Ⅱ	1春	2								3					人間学Ⅱ	1春	2			1					2
																		倫理と社会生活	1秋		2							1
			教育と人間形成	1秋		2							1					教育と人間形成	1秋		2							
			比較宗教論	1春		2							1					比較宗教論	1春		2							1
																		人権と法	1春		2							1
		社会と生活	近現代の歴史	1春		2							1				社会と生活	近現代の歴史	1春		2							1
			社会階層と文化	1秋		2							1					社会階層と文化	1秋		2							1
			国際社会と政治	1春		2							1					国際社会と政治	1春		2							1
			日本国憲法	1秋		2							1					日本国憲法	1秋		2							1

基盤教育科目			環境と生活	1秋		2							1
			生命と倫理	1秋		2							1
			情報と社会	1春		2							1
		小計(11科目)		－	4	18	0	0	0	0	0	0	14
	グローバルスタディ		グローバルスタディⅠ	2夏・冬		1							1
			グローバルスタディⅡ	2夏・冬		2							1
			グローバルスタディⅢ	2夏・冬		3							1
			地域研究(北米圏)	4春		2							1
			地域研究(アジア圏)	1秋		2			1				
			日本事情	1秋		2		1	1				
			日本文化論	1春		2							1
		小計(7科目)		－	0	14	0	1	2	0	0	0	3
	コミュニティスタディ		地域防災減災論	1冬		2							1
			災害と安全	1冬		2							3
			ボランティア論	1春		2							1
		小計(3科目)		－	0	6	0	0	0	0	0	0	5
	特別研究		特別研究Ⅰ	※		1							1
			特別研究Ⅱ	※		2							1
			特別研究Ⅲ	※		3							1
			特別研究Ⅳ	※		4							1
		小計(4科目)		－	0	10	0	0	0	0	0	0	1
	課題研究		課題研究Ⅰ	※		4			1				
			課題研究Ⅱ	※		8			1				
			課題研究Ⅲ	※		12			1				
			課題研究Ⅳ	※		16			1				
		小計(4科目)		－	0	40	0	0	1	0	0	0	0
合計(155科目)				－	60	273	26	4	4	1	0	0	48
卒業要件及び履修方法													

基盤教育科目			環境と生活	1秋		2							1
			生命と倫理	1秋		2							1
			情報と社会	1春		2							1
			食と健康	1秋		2							1
		小計(15科目)		－	4	24	0	1	0	0	0	0	17
	グローバルスタディ		グローバルスタディⅠ	2夏・冬		1							1
			グローバルスタディⅡ	2夏・冬		2							1
			グローバルスタディⅢ	2夏・冬		3							1
			グローバルスタディⅣ	2夏・冬		4							
			地域研究(北米圏)	1春		2		1					
			地域研究(アジア圏)	1秋		2		1					
			日本事情	1秋		2		1					
			日本文化論	1春		2							1
		小計(7科目)		－	0	18	0	3	0	0	0	0	4
	コミュニティスタディ		地域防災減災論	1春		2							1
			災害と安全	1冬		2							1
			ボランティア論	1冬		2							1
		小計(3科目)		－	0	6	0	0	0	0	0	0	3
	特別研究		特別研究Ⅰ	1春・秋		1							
			特別研究Ⅱ	※		2							
			特別研究Ⅲ	※		3							
			特別研究Ⅳ	※		4							
		小計(4科目)		－	0	10	0						
	課題研究		課題研究Ⅰ	※		4							
			課題研究Ⅱ	※		8							
			課題研究Ⅲ	※		12							
			課題研究Ⅳ	※		16							
		小計(4科目)		－	0	40	0	0	0	0	0	0	0
合計(169科目)				－	68	303	26	11	0	0	0	0	70
卒業要件及び履修方法													

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ（人間の理解）」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」（各2単位）を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」（※1）より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上（※2）の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。
（履修科目の登録の上限：25単位（1学期））
（※1）リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。
（※2）コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群（サービスラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ）により1単位以上履修すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	英語基礎1	1春		2			1				
	リーディング1	1春		2							2
	ライティング1	1春		2							1
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2		1					
	英語基礎2	1秋		2			1				
	リーディング2	1秋		2							2
	ライティング2	1秋		2							1
	オーラル・コミュニケーション2	1秋		2		1					
	英語総合1	1春	2				1				
	リーディング総合1	1春	2				1				
	ライティング総合1	1春	2			1	1				
	アドバンスト・コミュニケーション1	1春	2				1				
	英語総合2	1秋	2				1				
	リーディング総合2	1秋	2				1				
	ライティング総合2	1秋	2			1	1				
	アドバンスト・コミュニケーション2	1秋	2				1				
	アカデミック英語	2春		2		1					
	グローバル事情	2春		2		1					
	総合英語Ⅰ	1春		2			1				
	総合英語Ⅱ	1秋		2			1				
	総合英語Ⅲ	2春		2			1				
	総合英語Ⅳ	3春		2			1				
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1			1				
	インテンシブイングリッシュⅡ	1夏		1			1				
	インテンシブイングリッシュⅢ	1冬		1			1				
	小計（25科目）	－	16	31	0	4	2	0	0	0	3
基幹科目	異文化理解	1秋	2								1
	経済学基礎	1秋	2								1
	国際関係	2春	2			1					
	アジア研究	2春		2			1				
	日本研究	1秋		2							1
	言語と文化	2春		2			1				
	文化人類学	1秋		2			1				
	経営学概論	3秋		4							1
	小計（8科目）	－	6	12	0	1	1	0	0	0	4
	課題研究（グローバルリサーチ）	2秋	16			2					
	日本のポップカルチャー	2春		2			1				
	日本文学	2春		2							1
	経済学概論	3春		4							1
	国際経済論	3秋		2							1
	マーケティング	3春		4							1
	アジアマーケティング論	3秋		2							1
	ファイナンス	3秋		4							1
	ビジネス統計学	2春		4							1
	国際通商法	3秋		2		1					
	国際経営論	4春		2							1

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ（人間の理解）」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」（各2単位）を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」（※1）より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上（※2）の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。
（履修科目の登録の上限：25単位（1学期））
（※1）リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。
（※2）コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群（サービスラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ）により1単位以上履修すること。

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	英語基礎1	1春		2		1					
	リーディング1	1春		2							1
	ライティング1	1春		2							1
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2							1
	英語基礎2	1秋		2		1					1
	リーディング2	1秋		2							2
	ライティング2	1秋		2							1
	オーラル・コミュニケーション2	1秋		2							1
	英語総合1	1春	2				1				
	リーディング総合1	1春	2				1				
	ライティング総合1	1春	2			1	1				
	アドバンスト・コミュニケーション1	1春	2				1				1
	英語総合2	1秋	2				1				
	リーディング総合2	1秋	2				1				
	ライティング総合2	1秋	2			1	1				
	アドバンスト・コミュニケーション2	1秋	2				1				
	アカデミック英語	2春		2		1					
	グローバル事情	2春		2		1					
	総合英語Ⅰ	1春		2			1				
	総合英語Ⅱ	1秋		2			1				
	総合英語Ⅲ	2春		2			1				
	総合英語Ⅳ	3春		2			1				
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1			1				
	インテンシブイングリッシュⅡ	1夏		1			1				
	インテンシブイングリッシュⅢ	1冬		1			1				
	小計（25科目）	－	16	31	0	4	2	0	0	0	3
基幹科目	異文化理解	1秋	2								1
	経済学基礎	1秋	2								1
	国際関係	2春	2			1					
	アジア研究	2春		2			1				
	日本研究	1秋		2							1
	言語と文化	2春		2			1				
	文化人類学	1秋		2			1				
	経営学概論	3春		4							1
	小計（8科目）	－	6	12	0	1	1	0	0	0	4
	課題研究（グローバルリサーチ）	2秋	16			2					
	日本のポップカルチャー	2春		2			1				
	日本文学	2春		2							1
	経済学概論	3春		4							1
	国際経済論	3秋		2							1
	マーケティング	3春		4							1
	アジアマーケティング論	3秋		2							1
	ファイナンス	3秋		4							1
	ビジネス統計学	2春		4							1
	国際通商法	3秋		2		1					
	国際経営論	4春		2							1

展開科目	インバウンドツーリズム産業論	3秋		2							1	展開科目	インバウンドツーリズム産業論	3秋		2							1
	実践ビジネス英語Ⅰ	3春		2							1		実践ビジネス英語Ⅰ	3春		2							1
	実践ビジネス英語Ⅱ	3秋		2							1		実践ビジネス英語Ⅱ	3秋		2							1
	ビジネスプレゼンテーション	2春		2							1		ビジネスプレゼンテーション	2春		2							1
	ホスピタリティマネジメント	3秋		4							1		ホスピタリティマネジメント	3秋		4							1
	ビジネスマナー	3春		2							1		ビジネスマナー	3春		2							1
	航空実務	3春		4							1		航空実務	3春		4							1
	ホテル実務	2春		4							1		ホテル実務	2春		4							1
	ツーリズム事情Ⅰ	3春		2							1		ツーリズム事情Ⅰ（未開講）	3春		2							1
	ツーリズム事情Ⅱ	3秋		2							1		ツーリズム事情Ⅱ	3秋		2							1
	ツアーガイド実務	3秋		4							1		ツアーガイド実務	3秋		4							1
	通訳入門	2春		2							1		通訳入門	2春		2							1
	社会学概論	1春		2							1		社会学概論	1春		2							1
	サービスラーニングⅠ	1春～秋		2		1							サービスラーニングⅠ	1春～		2		1					
	サービスラーニングⅡ	2春		2		1							サービスラーニングⅡ	2春		2		1					
	インターンシップⅠ	1夏・冬		1		2							インターンシップⅠ	1夏・冬		1		2					
	インターンシップⅡ	1夏・冬		2		2							インターンシップⅡ	1夏・冬		2		2					
	インターンシップⅢ	1夏・冬		4		1							インターンシップⅢ	1夏・冬		4		1					
	言語学概論	2春		2		1							言語学概論	2春		2		1					
	日本語の構造Ⅰ	1春		2			1						日本語の構造Ⅰ	1春		2			1				
	日本語の構造Ⅱ	1秋		2			1						日本語の構造Ⅱ	1秋		2			1				
	日本語教育事情	2春		2			1						日本語教育事情	2春		2			1				
	日本語コミュニケーション	2春		2		1							日本語コミュニケーション	3秋		2		1					
	日本語教授法	3春		2		1							日本語教授法	3春		2		1					
	日本語教育の実践と評価	3秋		2		1							日本語教育の実践と評価	3秋		2		1					
	英語音声学	3秋		2		1							英語音声学	3秋		2		1					
	英語学Ⅰ	1春		2		1							英語学Ⅰ	1春		2		1					
	英語学Ⅱ	1秋		2		1							英語学Ⅱ	1秋		2		1					
	英米文学概論	2夏		2							1		英米文学概論	2夏		2							1
	英語科教育法Ⅰ	2春		2		1							英語科教育法Ⅰ	2春		2		1					
	英語科教育法Ⅱ	3春		2		1							英語科教育法Ⅱ	3春		2		1					
	英語科教育法Ⅲ	3秋		2		1							英語科教育法Ⅲ	3秋		2		1					
	英語科教育法Ⅳ	3冬		2		1							英語科教育法Ⅳ	3冬		2		1					
	教育学概論	1秋		2							1		教育学概論	1春		2							1
	教職概論	2春			2						1		教職概論	2春			2						1
	教育社会学	2春		2							1		教育社会学	2春		2							1
	学校経営論	2春		2							1		学校経営論	2春		2							1
	教育制度論	3秋		2							1		教育制度論	3秋		2							1
	教育心理学	2秋		2							1		教育心理学	3秋		2							1
	発達心理学	1秋		2							1		発達心理学	1秋		2							1
	特別支援教育基礎	2夏			1						1		特別支援教育基礎	2夏			1						1
	教育課程論	3秋			2						1		教育課程論	3秋			2						1
	道徳教育の指導法	2冬			2						1		道徳教育の指導法	2冬			2						1
	総合的な学習の時間の指導法	2冬			1						1		総合的な学習の時間の指導法	2冬			1						1
	特別活動の指導法	2春			2						1		特別活動の指導法	2春			2						1
	教育方法論	2秋			2						1		教育方法論	3秋			2						1
	教育相談	3春		2							1		教育相談	3春		2							1
	生徒・進路指導論	3秋			2						1		生徒・進路指導論	3秋			2						1
	教育実習Ⅰ	3秋～4			5	1							教育実習Ⅰ	3夏～4			5	1					
	教育実習Ⅱ	3秋～4			3	1							教育実習Ⅱ	3夏～4			3	1					
	教職実践演習（中・高）	4秋			2	1							教職実践演習（中・高）	4秋			2	1					
	ボランティア実習	3春			2						1		ボランティア実習	3春			2						1
	英文法研究	2春		2		1							英文法研究	2春		2		1					
	英語発音クリニック	2春		2		1							英語発音クリニック	2春		2		1					
	児童英語	3春		2		1							児童英語	3春		2		1					
	小計（66科目）	－	16	123	26	5	2	0	0	0	22		小計（66科目）	－	16	123	26	5	2	0	0	0	22
総合演習	専門演習Ⅰ	2春	2			2	1					総合演習	専門演習Ⅰ	2春	2			2	1				
	専門演習Ⅱ	3春	2			2	1						専門演習Ⅱ	3春	2			2	1				
	専門演習Ⅲ	3秋	2			2	2						専門演習Ⅲ	3秋	2			2	2				
	卒業研究	4通	4			2	2						卒業研究	4通	4			2	2				
	小計（4科目）	－	10	0	0	4	4	0	0	0	0		小計（4科目）	－	10	0	0	4	4	0	0	0	0

基盤教育科目	KUISベーシック		評価と実践Ⅰ	1～2	1			5	1				
			評価と実践Ⅱ	3～4	1			2	3				
			リーダーシップ演習	1冬		1							1
			仕事とキャリア形成Ⅰ	2春	2								1
			仕事とキャリア形成Ⅱ	3秋		2							1
			初年次セミナー	1春	1			3					
			基礎演習	1秋	1			3					
			学習技術	1春	1			2					
			リサーチ入門	1冬	1								1
			小計(9科目)	－	8	3	0	6	4	0	0	0	3
基盤教育科目	コモンベーシックス	第2外国語（その他の外国語）	中国語Ⅰ	1春		2			1				
			中国語Ⅱ	1秋		2			1				
			韓国・朝鮮語Ⅰ	1春		2							1
			韓国・朝鮮語Ⅱ	1秋		2							1
		留学生対象の日本語	日本語Ⅰ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅱ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅲ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅳ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅴ	1春・秋		2							1
			アカデミック日本語Ⅰ	2春		1		1					
			アカデミック日本語Ⅱ	2秋		1		1					
			日本語ライティングⅠ	2春		1							1
			日本語ライティングⅡ	2秋		1			1				
			ビジネス日本語Ⅰ	2春		1							1
			ビジネス日本語Ⅱ	2春		1							1
			専門日本語Ⅰ	2秋		1							1
			専門日本語Ⅱ	2秋		1							1
		情報	ICTリテラシー	1春		2			1				
			ICT活用A	1秋		2							1
		健康とスポーツ	生涯スポーツⅠ	1夏		1							1
			生涯スポーツⅡ	1冬		1							1
		小計(21科目)		－	0	32	0	1	2	0	0	0	5
基盤教育科目	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	1秋	2								3
			人間学Ⅱ	1春	2								3
			倫理と社会生活	1秋		2							1
			教育と人間形成	1秋		2							1
			比較宗教論	1春		2							1
			人権と法	1春		2							1
		社会と生活	近現代の歴史	1秋		2							1
			社会階層と文化	1秋		2							1
			国際社会と政治	1春		2							1
			日本国憲法	1秋		2							1
		科学と生活	データサイエンス	1秋		2							1
			環境と生活	1秋		2							1
			生命と倫理	1秋		2							1
			情報と社会	1春		2							1
			食と健康	1秋		2							1
		小計(15科目)		－	4	26	0	0	0	0	0	0	18

基盤教育科目	KUISベーシック		評価と実践Ⅰ	1～2	1			5	1				
			評価と実践Ⅱ	3～4	1			2	3				
			リーダーシップ演習	1冬		1							1
			仕事とキャリア形成Ⅰ	2春	2								1
			仕事とキャリア形成Ⅱ	3秋		2							1
			初年次セミナー	1春	1			3					
			基礎演習	1秋	1			3					
			学習技術	1春	1			2					
			リサーチ入門	1冬	1								1
			小計(9科目)	－	8	3	0	6	4	0	0	0	3
基盤教育科目	コモンベーシックス	第2外国語（その他の外国語）	中国語Ⅰ	1春		2			1				
			中国語Ⅱ	1秋		2			1				
			韓国・朝鮮語Ⅰ	1春		2							1
			韓国・朝鮮語Ⅱ	1秋		2							1
			マレー語	2春		1							
			インドネシア語	2春		1							
		留学生対象の日本語	日本語Ⅰ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅱ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅲ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅳ	1春・秋		2							1
			日本語Ⅴ	1春・秋		2							1
			アカデミック日本語Ⅰ	2春		1		1					
			アカデミック日本語Ⅱ	2秋		1		1					
			日本語ライティングⅠ	2春		1							1
			日本語ライティングⅡ	2秋		1			1				
			ビジネス日本語Ⅰ	2春		1							1
			ビジネス日本語Ⅱ	2春		1							1
			専門日本語Ⅰ	2秋		1							1
			専門日本語Ⅱ	2秋		1							1
		情報	ICTリテラシー	1春		2			1				
			ICT活用A	1秋		2							1
		健康とスポーツ	生涯スポーツⅠ	1夏		1							1
			生涯スポーツⅡ	1冬		1							1
		小計(21科目)		－	0	34	0	1	2	0	0	0	5
基盤教育科目	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	1秋	2								3
			人間学Ⅱ	1春	2								3
			倫理と社会生活	1秋		2							1
			教育と人間形成	1秋		2							1
			比較宗教論	1春		2							1
			人権と法	1春		2							1
		社会と生活	近現代の歴史	1春		2							1
			社会階層と文化	1秋		2							1
			国際社会と政治	1春		2							1
			日本国憲法	1秋		2							1
		科学と生活	データサイエンス	1秋		2							1
			環境と生活	1秋		2							1
			生命と倫理	1秋		2							1
			情報と社会	1春		2							1

基盤教育科目	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏・冬		1							1
		グローバルスタディⅡ	2夏・冬		2							1
		グローバルスタディⅢ	2夏・冬		3							1
		地域研究(北米圏)	4春		2							1
		地域研究(アジア圏)	1秋		2							1
		日本事情	1秋		2			1				
		日本文化論	1春		2							1
		小計(7科目)	－	0	14	0	0	1	0	0	0	4
	ユニティスタ	地域防災減災論	1冬		2							1
		災害と安全	1冬		2							3
		ボランティア論	1春		2							1
		小計(3科目)	－	0	6	0	0	0	0	0	0	5
	特別研究	特別研究Ⅰ	1春・秋		1							1
		特別研究Ⅱ	※		2							1
		特別研究Ⅲ	※		3							1
		特別研究Ⅳ	※		4							1
		小計(4科目)	－	0	10	0	0	0	0	0	0	3
	課題研究	課題研究Ⅰ	※		4			1				
		課題研究Ⅱ	※		8			1				
		課題研究Ⅲ	※		12			1				
		課題研究Ⅳ	※		16			1				
		小計(4科目)	－	0	40	0	0	2	0	0	0	0
合計(166科目)			－	60	297	26	6	4	0	0	0	58

卒業要件及び履修方法

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ(人間の理解)」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」(各2単位)を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」(※1)より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上(※2)の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期))
(※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。
(※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービスラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。

基盤教育科目		食と健康	1秋		2							1
		小計(15科目)	－	4	26	0	0	0	0	0	0	18
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏・冬		1							1
		グローバルスタディⅡ	2夏・冬		2							1
		グローバルスタディⅢ	2夏・冬		3							1
		グローバルスタディⅣ	2夏・冬		4							1
		地域研究(北米圏)	4春		2							1
		地域研究(アジア圏)	1秋		2							1
		日本事情	1秋		2			1				
		日本文化論	1春		2							1
		小計(7科目)	－	0	18	0	0	1	0	0	0	4
	ユニティスタ	地域防災減災論	1春		2							1
		災害と安全	1冬		2							3
		ボランティア論	1秋		2							1
		小計(3科目)	－	0	6	0	0	0	0	0	0	5
	特別研究	特別研究Ⅰ	1春・秋		1							1
		特別研究Ⅱ	※		2							1
		特別研究Ⅲ	※		3							1
		特別研究Ⅳ	※		4							1
		小計(4科目)	－	0	10	0	0	0	0	0	0	3
	課題研究	課題研究Ⅰ	※		4			1				
		課題研究Ⅱ	※		8			1				
		課題研究Ⅲ	※		12			1				
		課題研究Ⅳ	※		16			1				
		小計(4科目)	－	0	40	0	0	2	0	0	0	0
合計(169科目)			－	60	303	26	6	4	0	0	0	58

卒業要件及び履修方法

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ(人間の理解)」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」(各2単位)を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」(※1)より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上(※2)の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。
(履修科目の登録の上限:25単位(1学期))
(※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。
(※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービスラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。

【令和３年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	英語基礎1	1春		2		1					1
	リーディング1	1春		2		1					1
	ライティング1	1春		2							2
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2							2
	英語基礎2	1秋		2							2
	リーディング2	1秋		2		1					1
	ライティング2	1秋		2							3
	オーラル・コミュニケーション2	1秋		2							2
	英語総合1	1春	2				1				2
	リーディング総合1	1春	2				1				2
	ライティング総合1	1春	2			1					2
	アドバンスト・コミュニケーション1	1春	2			2					3
	英語総合2	1秋	2			1					3
	リーディング総合2	1秋	2								3
	ライティング総合2	1秋	2			2					1
	アドバンスト・コミュニケーション2	1秋	2								3

	アカデミック英語	2春		2							1
	グローバル事情	2春		2		1					
	総合英語Ⅰ	1春		2			1				
	総合英語Ⅱ	1秋		2			1				2
	総合英語Ⅲ	2春		2							2
	総合英語Ⅳ	3春		2							1
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1			1				
	インテンシブイングリッシュⅡ	1夏		1			1				
	インテンシブイングリッシュⅢ	1冬		1			1				
	小計(25科目)	－	16	31	0	4	2	0	0	0	3
基幹科目	異文化理解	1秋	2								1
	経済学基礎	1秋	2								1
	国際関係	2春	2			1					
	アジア研究	2春		2		1					
	日本研究	1秋		2							1
	言語と文化	2春		2		1					
	文化人類学	1秋		2		1					
	経営学概論	3春		4							1
	小計(8科目)	－	6	12	0	1	1	0	0	0	4
展開科目	課題研究(グローバルリサーチ)	2秋	16			5					
	日本のポップカルチャー	2春		2		1					
	日本文学(未開講)	2春		2							1
	経済学概論	3春		4							1
	国際経済論	3秋		2							1
	マーケティング	3春		4							1
	アジアマーケティング論	3秋		2							1
	ファイナンス	3秋		4							1
	ビジネス統計学	2春		4							1
	国際通商法	3秋		2		1					
	国際経営論	4春		2							1
	インバウンドツーリズム産業論	3秋		2							1
	実践ビジネス英語Ⅰ	3春		2							1
	実践ビジネス英語Ⅱ	3秋		2							1
	ビジネスプレゼンテーション	2春		2							1
	ホスピタリティマネジメント	3秋		4							1
	ビジネスマナー(未開講)	3春		2							1
	航空実務	3春		4							1
	ホテル実務	2春		4							1
	ツーリズム事情Ⅰ	3春		2							1
	ツーリズム事情Ⅱ	3秋		2							1
	ツアーガイド実務	3秋		4							1
	通訳入門	2春		2							1
	社会学概論	1春		2							1
	サービスラーニングⅠ	1春～		2			1				
	サービスラーニングⅡ	2春		2		1					
	インターンシップⅠ	1夏・冬		1		2					
	インターンシップⅡ	1夏・冬		2		2					
	インターンシップⅢ	1夏・冬		4		2					
	言語学概論	2春		2		1					
	日本語の構造Ⅰ	1春		2			1				
	日本語の構造Ⅱ	1秋		2			1				
	日本語教育事情	2春		2			1				
	日本語コミュニケーション	3秋		2							1
	日本語教授法	3春		2		1					
	日本語教育の実践と評価	3秋		2		1					
	英語音声学	3秋		2		1					
	英語学Ⅰ	1春		2		1					
	英語学Ⅱ	1秋		2		1					
	英米文学概論	2夏		2							1
	英語科教育法Ⅰ	2春		2		1					
	英語科教育法Ⅱ	3春		2							

展開科目		英語科教育法Ⅲ	3秋		2		1					
		英語科教育法Ⅳ	3冬		2		1					
		教育学概論	1春		2							1
		教職概論	2春			2						1
		教育社会学	3春		2							1
		学校経営論	2春		2							1
		教育制度論	3秋		2							1
		教育心理学（未開講）	3秋		2							1
		発達心理学	1秋		2							1
		特別支援教育基礎	2夏			1						1
		教育課程論	3秋			2						1
		道徳教育の指導法	2冬			2						1
		総合的な学習の時間の指導法	2夏			1						1
		特別活動の指導法	2春			2						1
		教育方法論	3秋			2						1
		教育相談	3春		2							1
		生徒・進路指導論	3秋			2						1
		教育実習Ⅰ	3夏～4			5	1					
		教育実習Ⅱ	3夏～4			3	1					
		教職実践演習（中・高）	4秋			2	1					
		ボランティア実習	3春			2						1
		英文法研究（英文法研究）	2春		2		1					
		英語発音クリニック（未開講）	2春		2		1					
		児童英語（未開講）	3春		2		1					
		小計（66科目）	－	16	123	26	5	2	0	0	0	22
総合演習		専門演習Ⅰ	2春	2			6	1				
		専門演習Ⅱ	3春	2			2	1				
		専門演習Ⅲ	3秋	2			2	2				
		卒業研究	4通	4			2	2				
		小計（4科目）	－	10	0	0	4	4	0	0	0	0
基盤教育科目	KUISベーシック	評価と実践Ⅰ	1～2	1			7	1				
		評価と実践Ⅱ	3～4	1			5					
		リーダーシップ演習	1冬		1							1
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2春	2								1
		仕事とキャリア形成Ⅱ	3秋		2							1
		初年次セミナー	1春	1			4					
		基礎演習	1秋	1			5					
		学習技術	1春	1			1	1				
		リサーチ入門	1冬	1								1
		小計(9科目)	－	8	3	0	6	4	0	0	0	3
基盤教育科目	コモンベーシックス	留学生対象の日本語（その他の外国語）	中国語Ⅰ	1春		2		1				
			中国語Ⅱ	1秋		2		1				
			韓国・朝鮮語Ⅰ	1春		2						1
			韓国・朝鮮語Ⅱ	1秋		2						1
			マレー語	2春		1						1
			インドネシア語	2春		1						1
		留学生対象の日本語	日本語Ⅰ	1春・秋		2						1
			日本語Ⅱ	1春・秋		2						1
			日本語Ⅲ	1春・秋		2						1
			日本語Ⅳ	1春・秋		2						1
			日本語Ⅴ	1春・秋		2						1
			アカデミック日本語Ⅰ	2春		1						1
			アカデミック日本語Ⅱ	2秋		1		1				
			日本語ライティングⅠ（未	2春		1		1				
			日本語ライティングⅡ	2秋		1		1				
			ビジネス日本語Ⅰ	2春		1		1				

基盤教育科目			ビジネス日本語Ⅱ	2春		1							1
			専門日本語Ⅰ	2秋		1			1				
			専門日本語Ⅱ	2秋		1							1
		情報	ICTリテラシー	1春		2		1	1				
			ICT活用A	1秋		2							1
		スポーツ	生涯スポーツⅠ	1夏		1							1
			生涯スポーツⅡ	1冬		1							1
		小計(21科目)		－	0	34	0	1	2	0	0	0	5
	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	1秋	2								3
			人間学Ⅱ	1春	2								3
			倫理と社会生活	1秋		2							1
			教育と人間形成	1秋		2							1
			比較宗教論	1春		2							1
			人権と法	1春		2							1
		社会と生活	近現代の歴史	1春		2							1
			社会階層と文化	1秋		2							1
			国際社会と政治	1春		2							1
			日本国憲法	1秋		2							1
		科学と生活	データサイエンス	1秋		2							1
			環境と生活	1秋		2							1
			生命と倫理	1秋		2							1
			情報と社会	1春		2							1
			食と健康	1秋		2							1
		小計(15科目)		－	4	26	0	0	0	0	0	0	18
	グローバルスタディ		グローバルスタディⅠ	2夏・冬		1							1
			グローバルスタディⅡ	2夏・冬		2							1
			グローバルスタディⅢ	2夏・冬		3							1
			グローバルスタディⅣ	2夏・冬		4							1
			地域研究(北米圏)	1春		2		1					
			地域研究(アジア圏)	1秋		2		1					
			日本事情	1秋		2			1				
			日本文化論	1春		2							1
		小計(7科目)		－	0	18	0	0	1	0	0	0	4
	ユニティスタ		地域防災減災論	1春		2							1
			災害と安全	1冬		2							1
			ボランティア論	1冬		2							1
		小計(3科目)		－	0	6	0	0	0	0	0	0	5
	特別研究		特別研究Ⅰ	1春・秋		1							1
			特別研究Ⅱ	※		2		1					1
			特別研究Ⅲ	※		3							1
			特別研究Ⅳ	※		4							1
		小計(4科目)		－	0	10	0	0	0	0	0	0	3
	課題研究		課題研究Ⅰ	※		4			1				
			課題研究Ⅱ	※		8			1				4
			課題研究Ⅲ	※		12			1				
			課題研究Ⅳ	※		16			1				
		小計(4科目)		－	0	40	0	0	2	0	0	0	0
合計(169科目)				－	60	303	26	6	4	0	0	0	58
卒業要件及び履修方法													

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ（人間の理解）」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」（各2単位）を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」（※1）より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上（※2）の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。
（履修科目の登録の上限：25単位（1学期））
（※1）リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。
（※2）コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群（サービスラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ）により1単位以上履修すること。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・教員組織調整のため、「基礎英語1」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
・教員組織調整および教育効果を高めるため、「リーディング1」の教員配置を専任教員「講師1」から「兼任2」に変更。
・教育効果を高めるため、「オーラル・コミュニケーション1」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・教育効果を高めるため、「マーケティング」の配当時期を「1秋」から「1春」に変更。
・教育効果を高めるため、「ファイナンス」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「英語基礎2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更。
・カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「リーディング2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」と「兼任1」から「兼任2」に変更。
・カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「ライティング2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
・カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「オーラル・コミュニケーション2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」と「兼任1」から専任教員「教授1」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「英語総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「リーディング総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。

・カリキュラムの一部見直しのため、「ライティング総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を専任教員「教授1」と「兼任1」から専任教員「教授1」「准教授1」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「アドバンスト・コミュニケーション1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「英語総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を「兼任1」から専任教員「准教授1」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「リーディング総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、着任予定教員退職による調整のため、教員配置を専任教員「教授1」から「准教授1」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「ライティング総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を「兼任1」から専任教員「教授1」「准教授1」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「アドバンスト・コミュニケーション2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、着任予定教員退職による調整のため、教員配置を専任教員「教授1」から「准教授1」に変更。

・カリキュラムの調整のため、「インテンシブイングリッシュⅡ」の配当時期を「1冬」から「1夏」に変更。
・カリキュラムの調整のため、「インテンシブイングリッシュⅢ」の配当時期を「1夏」から「1冬」に変更。
・カリキュラムの調整のため、「経済学基礎」の配当時期を「1夏」から「1秋」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「国際関係」の教員配置を「兼任1」から専任教員の「教授1」に変更。
・教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際経済論」を追加し、「兼担1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、展開科目に「アジアマーケティング論」を追加し、「兼担1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、展開科目に「ビジネス統計学」を追加し、「兼担1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際通商法」を追加し、専任教員「教授1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際経営論」を追加し、「兼担1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、展開科目に「インバウンドツーリズム産業論」を追加し、「兼担1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、展開科目に「社会学概論」を追加し、「兼担1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅠ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅡ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅢ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。

・教育内容の充実を図るため、「言語学概論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・カリキュラムの調整のため、「教育学概論」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
・カリキュラムの調整のため、「教育心理学」の配当時期を「2春」から「2秋」に変更。
・カリキュラムの調整のため、「発達心理学」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授5」「准教授1」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授3」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「初年次セミナー」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「基礎演習」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「学習技術」の専任教員の配置を「講師1」から「教授2」に変更。
・カリキュラムの調整のため、「リサーチ入門」の配当時期を「1夏」から「1冬」に変更。

・教育効果を高めるため、「日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
・教育効果を高めるため、「日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
・教育効果を高めるため、「日本語Ⅲ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
・教育効果を高めるため、「日本語Ⅳ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
・教育効果を高めるため、「日本語Ⅴ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。カリキュラムの調整に伴い教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティングⅠ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティングⅡ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅱ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅰ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。

・教育内容の充実を図るため、「ICTリテラシー」の専任教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「倫理と社会生活」を追加し、「兼任1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、「人権と法」を追加し、「兼任1」を配置。
・カリキュラムの調整のため、「近現代の歴史」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「データサイエンス」を追加し、「兼担1」を配置。
・教育内容の充実を図るため、「食と健康」を追加し、「兼任1」を配置。
・教員組織調整のため、「地域研究(アジア圏)」の教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
・教員組織調整のため、「日本事情」の教員配置を専任教員「教授1」「准教授1」から「准教授1」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「特別研究Ⅰ」を「1春・秋」の2回開講に変更。

【令和２年度】

・教育効果を高めるため、「経営学概論」の配当時期を「3秋」から「3春」に変更
・教育効果を高めるため、「日本語コミュニケーション」を「2春」から「3秋」に変更
・教育効果を高めるため、「教育学概論」を「1秋」から「1春」に変更
・教育効果を高めるため、「教育心理学」を「2秋」から「3秋」に変更
・教育効果を高めるため、「教育方法論」を「2秋」から「3秋」に変更
・教育効果を高めるため、「教育実習Ⅰ」を「3秋～4春」から「3夏～4春」に変更
・教育効果を高めるため、「教育実習Ⅱ」を「3秋～4春」から「3夏～4春」に変更
・教育効果を高めるため、「地域防災減殺論」を「1冬」から「1春」に変更
・教育効果を高めるため、「ボランティア論」を「1春」から「1秋」に変更
・教育内容の充実を図るため、「マレー語」「インドネシア語」「グローバルスタディⅣ」を科目追加。

【令和３年度】

教育内容の充実を図るため、「英語基礎」の兼任教員を追加
教育内容の充実を図るため、「ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ１」の兼任教員を追加
教育内容の充実を図るため、「ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ1」の兼任教員を追加
教育内容の充実を図るため、「オーラル・コミュニケーション１」の兼任教員を追加
教育間調整のため、「英語基礎２」を兼任教員に変更
教育間調整のため、「ライティング２」を兼任教員に変更
教育間調整のため、「オーラル・コミュニケーション２」を兼任教員に変更
教育内容の充実を図るため、「英語総合１」の兼任教員を追加
教育内容の充実を図るため、「リーディング総合１」の兼任教員を追加
教育内容の充実を図るため、「ライティング総合１」の兼任教員を追加
教育内容の充実を図るため、「アドバンスト・コミュニケーション１」の教員を追加
教育内容の充実を図るため、「英語総合２」の兼任教員を追加
教育間調整のため、「リーディング総合２」を兼任教員に変更
教育内容の充実を図るため、「ライティング総合２」の教員を追加
教育間調整のため、「アドバンスト・コミュニケーション２」を兼任教員に変更
教育間調整のため、「アカデミック英語」を兼任教員に変更
教育内容の充実を図るため、「総合英語Ⅱ」の兼任教員を追加
教育間調整のため、「英語総合Ⅲ」を兼任教員に変更
教育間調整のため、「英語総合Ⅲ」を兼任教員に変更
教育内容の充実を図るため、「課題研究（グローバルリサーチ）」の兼任教員を追加
カリキュラムの見直しにより「教育社会学」を3春に変更
カリキュラムの見直しにより「総合的な学習の時間の指導法」を3春に変更
教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅰ」の担当者数を増
教育間調整のため、「評価と実践Ⅱ」の担当社を変更
担当教員の昇格により、「中国語Ⅰ・Ⅱ」の担当配置を変更
教育内容の充実を図るため、「日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ」に専任教員に変更
教育内容の充実を図るため、「ビジネス日本語Ⅰ」に教員を追加
教育内容の充実を図るため、「専門日本語Ⅰ」に教員を追加
教育内容の充実を図るため、「ＩＣＴﾘﾃﾗｼｰ」に教員を追加
教育内容の充実を図るため、「地域研究(北米圏)」を専任教員に変更
教育内容の充実を図るため、「地域研究(アジア圏)」を専任教員に変更
教育間調整のため、「災害と安全」の担当者を兼任教員に変更

【令和4年度】

・教員間調整のため「英語基礎Ⅰ」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ１」の兼任教員を追加
・教員間調整のため「ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ１」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「英語基礎２」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「リーディング２」に兼任教員を追加
・教員間調整のため「ライティング２」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ２」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「英語総合１」に兼任教員を追加
・教員間調整のため「ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合1」に兼任教員を追加
・教員間調整のため「ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合1」に専任教員を追加
・教員間調整のため「ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1」に兼任教員を追加
・教員間調整のため「英語総合2」に兼任教員を追加
・教員間調整のため「ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合2」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「総合英語Ⅰ」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「総合英語Ⅱ」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「総合英語Ⅲ」を兼任教員に変更
・教員間調整のため「総合英語Ⅳ」を兼任教員に変更
・担当教員異動のため、「ｲﾝﾃﾝｼﾌﾞ・ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を兼担教員に変更
・教育内容の充実を図るため「国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論」を追加
・教育内容の充実を図るため「国際協力ｷｬﾘｱ論」を追加
・教育内容の充実を図るため「ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰ論」を追加
・教育内容の充実を図るため「共生社会論」を追加
・「データサイエンス」を基盤教育科目の情報に変更
・教育内容の充実を図るため「ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅣ」を追加

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
25 科目	118 科目	12 科目	155 科目	28 科目 [3]	128 科目 [10]	19 科目 [7]	175 科目 [18]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	国際経営論	2	4春	専門	選択	兼任教員辞任のため。担当者が見つかり次第開講予定。
2	ツーリズム事情Ⅰ	2	3春	専門	選択	兼任教員辞任のため。担当者が見つかり次第開講予定。
3	ツーリズム事情Ⅱ	2	3秋	専門	選択	兼任教員辞任のため。担当者が見つかり次第開講予定。
4	英語科教育法Ⅱ	2	3春	専門	選択	教員担当科目の調整による。調整がつき次第開講予定
5	教育制度論	2	3秋	専門	選択	教員担当科目の調整による。調整がつき次第開講予定
6	児童英語	2	3春	専門	選択	教員担当科目の調整による。調整がつき次第開講予定
7	ビジネス日本語Ⅰ	1	2春	専門	選択	教員担当科目の調整による。調整がつき次第開講予定
8	専門日本語Ⅰ	1	2秋	専門	選択	教員担当科目の調整による。調整がつき次第開講予定
9	教育と人間形成	2	1秋	専門	選択	教員担当科目の調整による。調整がつき次第開講予定

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、担当教員が定まり次第開講する予定である。学生に対しては、ガイダンス等における案内の他、WEB上の履修システムと、電話やメールにて案内を行なっている。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{10}{155} = 6.45\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	神戸山手大学現代社会学部設置者変更による増（令2） 財産目録との整合させるための修正（令2） 尼崎キャンパス運動場の売却による（令3） 運動用地は校舎敷地と別地（徒歩20分）
	校舎敷地	34,542 ㎡ ~~9,150.6㎡~~	0 ㎡	0 ㎡	34,542 ㎡ ~~9,150.6㎡~~	
	運動場用地	37,019 ㎡ ~~38,913 ㎡~~ ~~48,543.3㎡~~	33,820㎡ ~~0 ㎡~~	0 ㎡	70,839 ㎡ ~~72,733㎡~~ ~~48,543.3㎡~~	
	小計	71,561㎡ ~~73,455㎡~~ ~~57,693.8㎡~~	33,820㎡ ~~0 ㎡~~	0 ㎡	105,381㎡ ~~107,275㎡~~ ~~57,693.8㎡~~	
	その他	23,769㎡ ~~25,068.5㎡~~	0 ㎡	0 ㎡	23,769㎡ ~~25,068.5㎡~~	
	合計	95,330㎡ ~~97,224㎡~~ ~~82,762.3㎡~~	33,820㎡ ~~0 ㎡~~	0 ㎡	129,150 ㎡ ~~131,044㎡~~ ~~82,762.3㎡~~	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	神戸山手大学現代社会学部設置者変更による増（令2）
		56,099㎡ ~~31,536.95㎡~~ （ 56,099㎡ ） ~~（ 31,536.95㎡）~~	0 ㎡ （ 0 ㎡）	0 ㎡ （ 0 ㎡）	56,099㎡ ~~31,536.95㎡~~ （ 56,099㎡ ） ~~（ 31,536.95㎡）~~	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	87 室	71 室	15 室	6 室 （補助職員 8 人）	0 室 （補助職員 0 人）	語学学習施設は情報処理学習施設と併用

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	11 ~~10~~ 室	平成31年４月 専任教授２名を新規採用のため（令） 令和2年４月 専任教授２名を新規採用のため（令２） 令和3年４月 専任教員の異動及び採用のため（令３）

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	大学全体	297,016(28,697) 297,016(28,697)	2,834(268) 2,834(268)	3,488(1,921) 3,488(1,921)	8,203	6,520	51	大学全体の数
	計	297,016(28,697) 297,016(28,697)	2,834(268) 2,834(268)	3,488(1,921) 3,488(1,921)	8,203	6,520	51	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	3,547 ㎡	486席	344,833冊	大学全体の数

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	3115 ㎡	テニスコート5面	フットサルコート1面	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	261千円	261千円	図書購入費	23,271千円	23,271千円	23,271千円
	共同研究費等	7,120千円	7,120千円	設備購入費	34,281千円	34,281千円	34,281千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,459千円	1,159千円	1,159千円	1,159千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大 学 の 名 称	関西国際大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備　　考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所　在　地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
心理学部						1.1	1.08				令和3年4月名称変更
経営学科	4	－	－	－	学士（経営学）	－	－		平成23年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	平成31年4月募集停止
心理学科	4	125	－	500	学士（行動科学）	0.99	1.08		平成19年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	令和3年4月名称変更
教育学部						0.92	0.72				
教育福祉学科	4	150	－	600	学士（教育福祉学）	0.92	0.72		平成19年	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士（英語学）	－	－		平成19年		平成31年4月募集停止
経営学部											
経営学科	4	175	３年次 20	740	学士（経営学）	1.11	1.12	令和3年	平成31年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和3年4月定員増
国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部						0.83	0.48				
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	75	0	300	学士（英語学）	0.88	0.62	令和3年	平成31年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
観光学科	4	80	－	320	学士（観光学）	0.52	0.35		令和3年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
保健医療学部						0.95	1.15				
看護学科	4	100	0	400	学士（看護学）	0.95	1.15	令和2年	平成25年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和2年4月定員増
現代社会学部						－	－				
観光学科	4	－	－	－		－	－				令和2年4月設置者変更 令和3年4月学生募集停止
総合社会学科	4	－	－	－		－	－				令和2年4月設置者変更 令和3年4月学生募集停止
社会学部						0.66	0.54				
社会学科	4	100	－	400	学士（学術）	0.66	0.54		令和3年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
大学全体	－	805	30	3260		0.83	0.98		－		

大 学 の 名 称	関西国際大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備　　考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所　在　地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
人間行動学研究科									平成17年		
人間行動学専攻	2	8	－	16	修士（人間行動学）	0.63	0.625		平成17年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
臨床教育学専攻	2	8	－	16	修士（臨床教育学）	1.13	1		平成26年	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
看護学研究科											
看護学専攻											
博士前期	2	6	－	12	修士（看護学）	0.42	0.67		平成27年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
博士後期	3	2		6	博士（看護学）	1.17	1		令和2年		
大学院全体	－	24	－	50		1.01	0.79				

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜国際コミュニケーション学部　英語コミュニケーション学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	片山(河内山)真理 54 〈平成31年4月〉 修士（文学）	英語基礎1 ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅲ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 児童英語 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ
専	教授	有本　純 66 〈平成31年4月〉 修士（文学）	英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究 英語発音ｸﾘﾆｯｸ 専門演習Ⅲ 卒業研究
専	教授（学科長）	越山　泰子 59 〈平成31年4月〉 Ph.D in Education(米国)	課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ 日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 日本語教授法 日本語教育の実践と評価 専門演習Ⅰ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習 ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅰ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅱ 日本事情
専	教授	Jonathan Aliponga 48 〈平成31年4月〉 博士(文学)(ﾌｨﾘﾋﾟﾝ)	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合1 リーディング総合2 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｱｶﾃﾞﾐｯｸ英語 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ事情

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学部長）	渡邊　頼純 65 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ事情 国際関係 国際通商法 評価と実践Ⅰ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習
専	教授	片山(河内山)真理 54 〈平成31年4月〉 修士（文学）	ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅲ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 児童英語 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 学習技術
		有本　純 66 〈平成31年4月〉 修士（文学）	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ英語 英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究 英語発音ｸﾘﾆｯｸ 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅱ
専	教授	越山　泰子 59 〈平成31年4月〉 Ph.D in Education(米国)	課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ 日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 日本語教授法 日本語教育の実践と評価 評価と実践Ⅰ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習 ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅰ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学部長）	渡邊　頼純 66 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ事情 国際関係 評価と実践Ⅰ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習 人間学Ⅱ
専	教授	片山(河内山)真理 55 〈平成31年4月〉 修士（文学）	ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅲ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 児童英語 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 学習技術 課題研究（グローバルリサーチ）
		有本　純 67 〈平成31年4月〉 修士（文学）	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ英語 英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究 英語発音ｸﾘﾆｯｸ 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅱ ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合２
専	教授	越山　泰子 60 〈平成31年4月〉 Ph.D in Education(米国)	課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ 日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 日本語教授法 日本語教育の実践と評価 評価と実践Ⅰ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習 ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅰ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅱ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学部長）	渡邊　頼純 67 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ事情 国際関係 国際通商法 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習 専門演習Ⅰ 課題研究（グローバルリサーチ）
専	教授	片山(河内山)真理 56 〈平成31年4月〉 修士（文学）	英語基礎１ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅲ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 児童英語 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 学習技術
		有本　純 68 〈平成31年4月〉 修士（文学）	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ英語 英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究 英語発音ｸﾘﾆｯｸ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅱ 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ)
専	教授	越山　泰子 61 〈平成31年4月〉 Ph.D in Education(米国)	課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅲ 日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 日本語教授法 日本語教育の実践と評価 評価と実践Ⅰ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習 ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅰ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅱ
専	教授	Jonathan Aliponga 50 〈令和3年4月〉 博士(文学)(ﾌｨﾘﾋﾟﾝ)	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合1 リーディング総合2 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｱｶﾃﾞﾐｯｸ英語 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ事情

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学部長）	渡邊　頼純 65 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ事情 国際関係 課題研究（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ） 国際経済論 国際通商法 専門演習Ⅲ 卒業研究
専	教授	片山(河内山)真理 57 〈平成31年4月〉 修士（文学）	英語基礎１ 課題研究（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ） ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅰ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅲ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中・高） 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習
		有本　純 69 〈平成31年4月〉 修士（文学）	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合１ 英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究（英文法研究） 英語発音ｸﾘﾆｯｸ 卒業研究
専	教授	越山　泰子 62 〈平成31年4月〉 Ph.D in Education(米国)	ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅰ ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ Ⅲ 日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 日本語教育の実践と評価 日本語教授法 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習
専	教授	Jonathan Aliponga 51 〈令和3年4月〉 博士(文学)(ﾌｨﾘﾋﾟﾝ)	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合１ ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ１ 課題研究（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ） 専門演習Ⅰ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	清水　拓野 47 〈平成31年4月〉 博士（学術）	アジア研究 言語と文化 文化人類学 日本のポップカルチャー 専門演習Ⅲ 卒業研究 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 地域研究（アジア圏）
専	准教授	J. Paul Marlowe 40 〈平成31年4月〉 博士(教育学)(米国)	ライティング1 オーラル・コミュニケーション1 リーディング2 ライティング2 オーラル・コミュニケーション2 英語総合1 リーディング総合1 アドバンスト・コミュニケーション1 専門演習Ⅱ
専	准教授	横山　雅彦 54 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ インテンシブイングリッシュⅠ インテンシブイングリッシュⅡ インテンシブイングリッシュⅢ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	百濟　正和 51 〈平成31年4月〉 修士（英語教育学）	オーラル・コミュニケーション1 オーラル・コミュニケーション2 言語学概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 学習技術
専	教授	Patric Shorb 47 〈平成31年4月〉 博士(東アジア学)(米国)	ライティング総合1 ライティング総合2 課題研究(グローバルリサーチ) 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次セミナー 基礎演習
専	准教授	清水　拓野 47 〈平成31年4月〉 博士（学術）	アジア研究 言語と文化 文化人類学 日本のポップカルチャー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ICTリテラシー 課題研究Ⅰ
専	准教授	J. Paul Marlowe 40 〈平成31年4月〉 博士(教育学)(米国)	英語総合1 リーディング総合1 ライティング総合1 アドバンスト・コミュニケーション1 英語総合2 リーディング総合2 ライティング総合2 アドバンスト・コミュニケーション2 卒業研究 評価と実践Ⅱ
専	准教授	横山　雅彦 54 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	英語基礎1 英語基礎2 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ インテンシブイングリッシュⅠ インテンシブイングリッシュⅡ インテンシブイングリッシュⅢ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	百濟　正和 52 〈平成31年4月〉 修士（英語教育学）	オーラル・コミュニケーション1 オーラル・コミュニケーション2 言語学概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 学習技術 特別研究Ⅰ
専	教授	Patric Shorb 48 〈平成31年4月〉 博士(東アジア学)(米国)	ライティング総合1 ライティング総合2 課題研究(グローバルリサーチ) 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次セミナー 基礎演習 英語総合１
専	准教授	清水　拓野 48 〈平成31年4月〉 博士（学術）	アジア研究 言語と文化 文化人類学 日本のポップカルチャー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ICTリテラシー 課題研究Ⅰ 課題研究（グローバルリサーチ）
専	准教授	J. Paul Marlowe 41 〈平成31年4月〉 博士(教育学)(米国)	英語総合1 リーディング総合1 ライティング総合1 アドバンスト・コミュニケーション1 英語総合2 リーディング総合2 ライティング総合2 アドバンスト・コミュニケーション2 卒業研究 評価と実践Ⅱ
専	准教授	横山　雅彦 55 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	英語基礎1 英語基礎2 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ インテンシブイングリッシュⅠ インテンシブイングリッシュⅡ インテンシブイングリッシュⅢ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ サービスラーニングⅠ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	百濟　正和 53 〈平成31年4月〉 修士（英語教育学）	リーディングⅠ リーディングⅡ オーラル・コミュニケーション1 オーラル・コミュニケーション2 言語学概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 基礎演習 学習技術 特別研究Ⅰ 課題研究(グローバルリサーチ)
専	教授	Patric Shorb 49 〈平成31年4月〉 博士(東アジア学)(米国)	ライティング総合1 ライティング総合2 課題研究(グローバルリサーチ) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次セミナー 基礎演習 英語総合１ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	清水　拓野 49 〈平成31年4月〉 博士（学術）	アジア研究 言語と文化 文化人類学 日本のポップカルチャー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ICTリテラシー 地域研究（アジア圏） 課題研究Ⅰ 課題研究（グローバルリサーチ）
専	准教授	横山　雅彦 56 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	英語基礎1 英語基礎2 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ インテンシブイングリッシュⅠ インテンシブイングリッシュⅡ インテンシブイングリッシュⅢ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ サービスラーニングⅠ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	百濟　正和 54 〈平成31年4月〉 修士（英語教育学）	リーディング１ リーディング２ 言語学概論 専門演習Ⅰ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 学習技術
専	教授	Patric Shorb 50 〈平成31年4月〉 博士(東アジア学)(米国)	英語総合１ ライティング総合１ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次セミナー 基礎演習
専	准教授	清水　拓野 50 〈平成31年4月〉 博士（学術）	アジア研究 言語と文化 文化人類学 日本のポップカルチャー 専門演習Ⅰ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 地域研究(アジア圏)
兼担	准教授	横山　雅彦 57 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ インテンシブイングリッシュⅠ インテンシブイングリッシュⅡ インテンシブイングリッシュⅢ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	伊藤　創 41 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	英語基礎2 言語学概論 日本語の構造Ⅰ 日本語の構造Ⅱ 日本語教育事情 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ 日本語Ⅴ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ 日本事情 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ
専	講師	井上　加寿子 38 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ1 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅱ 学習技術 ICTﾘﾃﾗｼｰ
兼担	教授（学長）	濱名　篤 （62） 〈平成31年4月〉 博士（社会学）	人間学Ⅰ※
兼担	教授（副学長）	山下　泰生 （59） 〈平成31年4月〉 理学士	情報と社会
兼担	教授	浅野　考平 （67） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	人間学Ⅱ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	伊藤　創 41 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	日本語の構造Ⅰ 日本語の構造Ⅱ 日本語教育事情 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅱ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ 日本事情 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ
兼担	教授（学長）	濱名　篤 （62） 〈平成31年4月〉 博士（社会学）	人間学Ⅰ※
兼担	教授（副学長）	山下　泰生 （59） 〈平成31年4月〉 理学士	情報と社会
兼担	教授	浅野　考平 （67） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	人間学Ⅱ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	伊藤　創 42 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	日本語の構造Ⅰ 日本語の構造Ⅱ 日本語教育事情 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 学習技術 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ 日本事情 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ 専門演習Ⅰ 課題研究（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ）
兼担	教授（学長）	濱名　篤 （63） 〈平成31年4月〉 博士（社会学）	人間学Ⅰ※
兼担	教授	浅野　考平 （68） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	人間学Ⅱ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	伊藤　創 43 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	日本語の構造Ⅰ 日本語の構造Ⅱ 日本語教育事情 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 卒業研究 ICTﾘﾃﾗｼｰ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 学習技術 ビジネス日本語Ⅰ 専門日本語Ⅰ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ 日本事情 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ 専門演習Ⅰ 課題研究（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ）
専	教授	遠藤　泰生 （65） 〈令和3年4月〉 文学修士	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ１ 英語総合２ ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合２ 専門演習Ⅰ 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 地域研究（北米圏）
兼担	教授（学長）	濱名　篤 （64） 〈平成31年4月〉 博士（社会学）	人間学Ⅰ※
兼担	教授	浅野　考平 （69） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	人間学Ⅱ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	伊藤　創 44 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	課題研究（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ） 日本語の構造Ⅰ 日本語の構造Ⅱ 日本語教育事情 専門演習Ⅱ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ ICTﾘﾃﾗｼｰ 日本事情
専	教授	遠藤　泰生 （66） 〈令和3年4月〉 文学修士	英語総合２ ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合２ 専門演習Ⅰ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次ｾﾐﾅｰ 基礎演習 学習技術 地域研究（北米圏）
専	教授	芦沢　真五 （66） 〈令和3年4月〉 文学修士	国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ概論 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰ論 人間学Ⅱ※
兼担	教授（学長）	濱名　篤 （65） 〈平成31年4月〉 博士（社会学）	人間学Ⅰ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	濱名　陽子 （63） 〈平成31年4月〉 教育学修士	教育学概論 教育社会学 教育と人間形成 人間学Ⅰ※
兼担	教授	上村　和美 （63） 〈平成32年4月〉 博士（言語文化学）	日本文化論
兼担	教授	肖　威 （54） 〈平成31年4月〉 博士（経営学）	経営学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	濱名　陽子 （63） 〈平成31年4月〉 教育学修士	教育学概論 教育社会学 教育と人間形成 人間学Ⅰ※
兼担	教授	肖　威 （54） 〈平成31年4月〉 博士（経営学）	ｱｼﾞｱﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 ﾋﾞｼﾞﾈｽ統計学 国際経営論
兼担	教授	古田　龍輔 （67） 〈平成31年4月〉 博士（経営学）	経営学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	濱名　陽子 （64） 〈平成31年4月〉 教育学修士	教育学概論 教育社会学 人間学Ⅰ※
兼担	教授	肖　威 （54） 〈平成31年4月〉 博士（経営学）	ｱｼﾞｱﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 国際経営論
兼担	教授	古田　龍輔 （67） 〈平成31年4月〉 博士（経営学）	経営学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	濱名　陽子 （65） 〈平成31年4月〉 教育学修士	人間学Ⅰ※
兼担	教授	飯嶋　香織 （62） 〈令和3年4月〉 教育学修士	教育と人間形成
兼担	教授	佐藤　広志 （56） 〈令和3年4月〉 教育学修士	教育社会学
兼担	教授	肖　威 （58） 〈平成31年4月〉 博士（経営学）	国際経営論
兼担	教授	堀上　明 （57） 〈令和3年4月〉 博士（経営学）	経営学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	齋藤富雄 （77） 〈令和4年4月〉 法学士	人間学Ⅱ
兼担	教授	櫻井　一成 （68） 〈令和4年4月〉 医学博士	人間学Ⅰ
兼担	教授	濱名　陽子 （66） 〈平成31年4月〉 教育学修士	人間学Ⅰ※
兼担	教授	宗田好史 （65） 〈令和4年4月〉 博士（工学）	国際協力ｷｬﾘｱ論 共生社会論 人間学Ⅱ
兼担	教授	佐藤　広志 （57） 〈令和3年4月〉 教育学修士	教育社会学 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	川脇　康生 (59) 〈平成31年4月〉 修士（経済学） 博士（国際公共政策）	人間学Ⅱ※ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅠ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅡ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅢ
兼担	教授	太田　裕彦 64 〈平成31年4月〉 学術博士	災害と安全
兼担	教授	浮田　泉 (58) 〈平成31年4月〉 修士（経営学） 修士（経済学）	ﾌｧｲﾅﾝｽ
兼担	教授	村田　昌彦 (62) 〈平成31年4月〉 工学士	地域防災減災論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ
兼担	教授	川村　光 (48) 〈平成31年4月〉 修士（教育学） 博士（人間科学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習
兼担	教授	花熊　曉 (68) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	特別支援教育基礎
兼担	教授	吉村　啓子 (61) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	教育心理学 発達心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	川脇　康生 (59) 〈平成31年4月〉 修士（経済学） 博士（国際公共政策）	人間学Ⅱ※ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅠ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅡ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅢ
兼担	教授	太田　裕彦 64 〈平成31年4月〉 学術博士	災害と安全
兼担	教授	浮田　泉 (58) 〈平成31年4月〉 修士（経営学） 修士（経済学）	ﾌｧｲﾅﾝｽ
兼担	教授	村田　昌彦 (62) 〈平成31年4月〉 工学士	地域防災減災論
兼担	教授	川村　光 (48) 〈平成31年4月〉 修士（教育学） 博士（人間科学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習
兼担	教授	花熊　曉 (68) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	特別支援教育基礎
兼担	教授	吉村　啓子 (61) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	教育心理学 発達心理学
兼担	教授	吹春　俊隆 (69) 〈平成31年4月〉 修士（経済学）	経済学概論 国際経済論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	川脇　康生 (60) 〈平成31年4月〉 修士（経済学） 博士（国際公共政策）	人間学Ⅱ※ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅠ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅡ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅢ
兼任	教授	太田　裕彦 65 〈平成31年4月〉 学術博士	災害と安全
兼担	教授	浮田　泉 (58) 〈平成31年4月〉 修士（経営学） 修士（経済学）	ﾌｧｲﾅﾝｽ
兼担	教授	村田　昌彦 (63) 〈平成31年4月〉 工学士	地域防災減災論
兼担	教授	川村　光 (48) 〈平成31年4月〉 修士（教育学） 博士（人間科学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習
兼担	教授	吉村　啓子 (61) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	教育心理学 発達心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	川脇　康生 (61) 〈平成31年4月〉 修士（経済学） 博士（国際公共政策）	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅠ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅡ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅢ
兼任	教授	太田　裕彦 66 〈平成31年4月〉 学術博士	災害と安全
兼担	教授	浮田　泉 (59) 〈平成31年4月〉 修士（経営学） 修士（経済学）	ﾌｧｲﾅﾝｽ
兼担	教授	村田　昌彦 (64) 〈平成31年4月〉 工学士	地域防災減災論
兼担	教授	川村　光 (48) 〈平成31年4月〉 修士（教育学） 博士（人間科学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実習
兼担	教授	田中　亜裕子 (50) 〈令和3年4月〉 修士（心理学）	教育心理学 発達心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	道免　逸子 (60) 〈令和4年4月〉 博士（文学）	災害と安全
兼担	教授	村田　昌彦 (65) 〈平成31年4月〉 工学士	地域防災減災論
兼担	教授	田中　亜裕子 (51) 〈令和3年4月〉 修士（心理学）	教育心理学 発達心理学
兼担	准教授	飯島有美子 (52) 〈令和4年4月〉 修士（国際学）	ﾘｻｰﾁ入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	百瀬　和夫 （65） 〈平成31年4月〉 学士（教育学）	学校経営論 生徒・進路指導論
兼担	准教授	横川　滋章 50 〈平成31年4月〉 修士（心理学）	災害と安全
兼担	准教授	谷口　一也 （39） 〈平成31年4月〉 博士（ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ）	人間学Ⅰ※
兼担	准教授	吉田　武大 （46） 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	教育制度論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	李　容淑 （61） 〈平成31年4月〉 修士（経営学）	ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞﾂｰﾘｽﾞﾑ産業論
兼担	教授	陳　那森 （55） 〈平成31年4月〉 修士（理学） 博士（工学）	ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ
兼担	准教授	山本　秀樹 （50） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学概論
兼担	准教授	横川　滋章 50 〈平成31年4月〉 修士（心理学）	災害と安全 特別研究Ⅱ
兼担	准教授	谷口　一也 （39） 〈平成31年4月〉 博士（ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ）	人間学Ⅰ※
兼担	准教授	吉田　武大 （46） 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	教育制度論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	李　容淑 （62） 〈平成31年4月〉 修士（経営学）	ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞﾂｰﾘｽﾞﾑ産業論
兼担	教授	陳　那森 （56） 〈平成31年4月〉 修士（理学） 博士（工学）	ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ
兼担	准教授	山本　秀樹 （50） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学概論
兼担	准教授	横川　滋章 51 〈平成31年4月〉 修士（心理学）	災害と安全 特別研究Ⅱ
兼担	准教授	谷口　一也 （40） 〈平成31年4月〉 博士（ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ）	人間学Ⅰ※
兼担	准教授	吉田　武大 （47） 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	教育制度論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	李　容淑 （63） 〈平成31年4月〉 修士（経営学）	ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞﾂｰﾘｽﾞﾑ産業論
兼担	教授	陳　那森 （57） 〈平成31年4月〉 修士（理学） 博士（工学）	ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ
兼担	教授	清水　美知子 （62） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	李　容淑 （64） 〈平成31年4月〉 修士（経営学）	ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞﾂｰﾘｽﾞﾑ産業論
兼担	教授	清水　美知子 （63） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学概論
兼担	教授	章　志華 （57） 〈令和4年4月〉 博士（情報工学）	ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ ICT活用A
兼担	教授	井上加寿子 （41） 〈令和4年4月〉 博士（言語文化学）	ICT活用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	板山　昂 (33) 〈平成31年4月〉 博士（人間文化学）	災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ
兼担	講師	林　万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士（国際公共政策） 博士（政策科学）	経済学概論
兼担	講師	齋藤　勝洋 (48) 〈平成31年4月〉 修士（経営学）	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ
兼担	講師	中嶌　康二 (48) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	ﾘｻｰﾁ入門 ICT活用A
兼任	講師	松下　義行 (68) 〈平成31年4月〉 高等学校卒	人間学Ⅱ※
兼任	講師	坂上　雅翁 (66) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	比較宗教論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	板山　昂 (33) 〈平成31年4月〉 博士（人間文化学）	災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ
兼担	講師	林　万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士（国際公共政策） 博士（政策科学）	経済学概論 特別研究Ⅰ
兼担	講師	齋藤　勝洋 (48) 〈平成31年4月〉 修士（経営学）	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ
兼担	講師	中嶌　康二 (48) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	ﾘｻｰﾁ入門 ICT活用A
兼任	講師	松下　義行 (68) 〈平成31年4月〉 高等学校卒	人間学Ⅱ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	板山　昂 (34) 〈平成31年4月〉 博士（人間文化学）	災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ
兼担	講師	林　万平 (39) 〈平成31年4月〉 修士（国際公共政策） 博士（政策科学）	経済学概論 特別研究Ⅰ
兼担	講師	齋藤　勝洋 (49) 〈平成31年4月〉 修士（経営学）	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ
兼担	講師	中嶌　康二 (48) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	ﾘｻｰﾁ入門 ICT活用A
兼任	講師	真鍋 公希 (27) 〈令和2年4月〉 修士（人間・環境学）	ﾘｻｰﾁ入門
兼任	講師	松下　義行 (69) 〈平成31年4月〉 高等学校卒	人間学Ⅱ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	林　万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士（国際公共政策） 博士（政策科学）	経済学概論
兼担	講師	齋藤　勝洋 (50) 〈平成31年4月〉 修士（経営学）	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ
兼担	講師	中嶌　康二 (49) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	教育方法論
兼担	講師	真鍋 公希 (28) 〈令和2年4月〉 修士（人間・環境学）	ﾘｻｰﾁ入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	中嶌　康二 (50) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	教育方法論
兼任	講師	井上　尚久 (67) 〈令和4年4月〉 博士（学術）	経済学概論 経済学基礎
兼任	講師	夏青 (33) 〈令和4年4月〉 修士（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ経営研究）	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ ﾌｧｲﾅﾝｽ ﾋﾞｼﾞﾈｽ統計学
兼任	講師	高秀美 (47) ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	藤崎拓海 (28) 〈令和3年4月〉 修士（言語文化）	インドネシア語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	進藤　正洋 （73） 〈平成32年4月〉 学士（教育学）	教職概論 教育方法論
兼任	講師	米田　薫 （62） 〈平成31年4月〉 博士（臨床教育学）	ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ演習
兼任	講師	岸　孝明 （72） 〈平成33年4月〉 文学士	教育課程論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中村みどり 〈平成31年4月〉 修士（人間・環境学）	比較宗教論
兼任	講師	進藤　正洋 （73） 〈平成31年4月〉 学士（教育学）	教育方法論
兼任	講師	米田　薫 （62） 〈平成31年4月〉 博士（臨床教育学）	ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ演習
兼任	講師	岸　孝明 （72） 〈平成31年4月〉 文学士	教育課程論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中村みどり 〈平成31年4月〉 修士（人間・環境学）	比較宗教論
兼任	講師	進藤　正洋 （74） 〈平成31年4月〉 学士（教育学）	教育方法論
兼任	講師	米田　薫 （63） 〈平成31年4月〉 博士（臨床教育学）	ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ演習
兼任	講師	岸　孝明 （72） 〈平成31年4月〉 文学士	教育課程論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	行木　敬 （51） 〈令和3年4月〉 博士（文学）	比較宗教論
兼任	講師	鋒山泰弘 （66） 〈令和3年4月〉 教育学修士	教育課程論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	酒井　滋子 （57） ＜令和4年4月＞ 修士（社会福祉学）	日本語Ⅱ
兼任	講師	小川　佐由理 （57） 〈令和4年4月〉 学士（文学）	日本語Ⅳ
兼任	講師	福井　武司 （53） ＜令和4年4月＞ 学士（経営学）	ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅰ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅱ
兼担	講師	阿部　忍 （57） ＜令和3年4月＞ 文学修士	日本語Ⅰ 日本語Ⅴ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅠ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅡ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀﾃﾞｨⅢ
兼担	教授	行木　敬 （52） 〈令和3年4月〉 博士（文学）	比較宗教論 情報と社会
兼任	講師	鋒山泰弘 （67） 〈令和3年4月〉 教育学修士	教育課程論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岡本　義裕 (55) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	道徳教育の指導法
兼任	講師	一尾　敏正 (63) 〈平成31年4月〉 文学士	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ﾎﾃﾙ実務
兼任	講師	長谷川　鐐一 (73) 〈平成31年4月〉 経営学士	経済学基礎
兼任	講師	Richard Leckie (49) 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本研究 日本文学 通訳入門
兼任	講師	フィゴーニ 啓子 (70) 〈平成31年4月〉 修士（英語教授法）	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ2 ｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合1 異文化理解

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岡本　義裕 (55) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	道徳教育の指導法 総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	一尾　敏正 (63) 〈平成31年4月〉 文学士	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ﾎﾃﾙ実務
兼任	講師	長谷川　鐐一 (73) 〈平成31年4月〉 経営学士	経済学基礎
兼任	講師	Richard Leckie (49) 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本研究 日本文学 通訳入門
兼任	講師	フィゴーニ 啓子 (70) 〈平成31年4月〉 修士（英語教授法）	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ1 ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ2 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合1 異文化理解

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	一尾　敏正 (64) 〈平成31年4月〉 文学士	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ﾎﾃﾙ実務
兼任	講師	長谷川　鐐一 (74) 〈平成31年4月〉 経営学士	経済学基礎
兼任	講師	Richard Leckie (50) 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本研究 日本文学 通訳入門
兼任	講師	フィゴーニ 啓子 (71) 〈平成31年4月〉 修士（英語教授法）	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ1 ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ2 ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合1 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合2 異文化理解

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	一尾　敏正 (65) 〈平成31年4月〉 文学士	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ﾎﾃﾙ実務
兼任	講師	市谷敏 (71) ＜令和2年4月＞ 文学士	ﾎﾃﾙ実務
兼任	講師	Richard Leckie (51) 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本研究 日本文学 通訳入門
兼任	講師	フィゴーニ 啓子 (72) 〈平成31年4月〉 修士（英語教授法）	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合1 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合1 ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合2 異文化理解

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岡本　義裕 (58) 〈平成33年4月〉 修士（教育学）	道徳教育の指導法
兼任	講師	一尾　敏正 (65) 〈平成31年4月〉 文学士	ﾎﾃﾙ実務
兼任	講師	三島　篤志 (57) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	通訳入門
兼任	講師	廣岡義之 (64) 〈令和4年4月〉 博士（教育学）	教育学概論
兼任	講師	栢木隆太郎 (72) 〈令和4年4月〉 修士(教育学)	特別支援教育基礎
兼任	講師	小松　郁夫 (75) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	生徒・進路指導論
兼任	講師	Richard Leckie (52) 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本研究 日本文学
兼任	講師	フィゴーニ 啓子 (73) 〈平成31年4月〉 修士（英語教授法）	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合2 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合1 異文化理解

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	Tina Ries (64) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	英語総合2 実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ 実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ
兼任	講師	岡本　由紀子 (49) 〈平成31年4月〉 修士(Medieval Studies)(英国)	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ1 英語基礎2 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	Tina Ries (64) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ1 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ2 実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ 実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ
兼任	講師	岡本　由紀子 (49) 〈平成31年4月〉 修士(Medieval Studies)(英国)	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ1 ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	越知昌賜	実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ 実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ
兼任	講師	岡本　由紀子 (50) 〈平成31年4月〉 修士(Medieval Studies)(英国)	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ1 英語基礎２
兼任	講師	George Schaaff (50) 〈令和2年4月〉 Master of science(日本)	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ 1
兼任	講師	Michael Walker (67) 〈令和2年4月〉 Master of Arts（英国）	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ2 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2
兼任	講師	Abigail van Stryker (68) 〈令和2年4月〉 Master of Arts(豪)	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語総合2 ｱｶﾃﾞﾐｯｸ英語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	越知昌賜	実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ 実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ ｱｼﾞｱﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論
兼任	講師	岡本　由紀子 (51) 〈平成31年4月〉 修士(Medieval Studies)(英国)	英語基礎1 英語基礎２ リーディング２ リーディング総合２ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	George Schaaff (51) 〈令和2年4月〉 Master of science(日本)	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語総合１ ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 英語総合２
兼任	講師	Michael Walker (68) 〈令和2年4月〉 Master of Arts（英国）	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語総合1 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語総合２
兼任	講師	Abigail van Stryker (68) 〈令和2年4月〉 Master of Arts(豪)	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ１ ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ２ ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合２ ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ２ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ英語 ﾂｰﾘｽﾞﾑ事情Ⅰ ﾂｰﾘｽﾞﾑ事情Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	越知昌賜	実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ 実践ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ ｱｼﾞｱﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 経営学概論
兼任	講師	岡本　由紀子 (52) 〈平成31年4月〉 修士(Medieval Studies)(英国)	英語基礎１ 英語基礎２ ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ2 総合英語Ⅳ
兼任	講師	George Schaaff (52) 〈令和2年4月〉 Master of science(日本)	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語総合１ ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 英語総合２
兼任	講師	Michael Walker (69) 〈令和2年4月〉 Master of Arts（英国）	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2
兼任	講師	Abigail van Stryker (68) 〈令和2年4月〉 Master of Arts(豪)	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ１ ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ２ 英語総合１ ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合１ ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ｱｶﾃﾞﾐｯｸ英語
兼担	講師	Liane Andrade (28) 〈令和4年4月〉 Master of Arts	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ１
兼任	講師	川部純巳 (33) 〈令和4年4月〉 修士（文学）	英語基礎１ ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ１ 英語基礎２ ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ２
兼任	講師	丸橋良雄 (71) 〈令和4年4月〉 修士（文学）	総合英語Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	服部　聡 （51） 〈平成31年4月〉 博士（政治学）	国際関係 地域研究（北米圏）
兼任	講師	多田　智恵子 （66） 〈平成31年4月〉 教育学修士	教育相談
兼任	講師	天野　義美 （72） 〈平成31年4月〉 文学士	総合的な学流の時間の指導法 特別活動の指導法
兼任	講師	小泉　園栄 （62） 〈平成31年4月〉 経営学士	航空実務 ﾂｰﾘｽﾞﾑ事情Ⅰ ﾂｰﾘｽﾞﾑ事情Ⅱ ﾂｱｰｶﾞｲﾄﾞ実務

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	服部　聡 （51） 〈平成31年4月〉 博士（政治学）	地域研究（北米圏）
兼任	講師	多田　智恵子 （66） 〈平成31年4月〉 教育学修士	教育相談
兼任	講師	岡田　忠義 （73） 〈平成31年4月〉 学士（教育学）	教職概論 学校経営論 特別活動の指導法 生徒・進路指導論
兼任	講師	小泉　園栄 （62） 〈平成31年4月〉 経営学士	航空実務 ﾂｰﾘｽﾞﾑ事情Ⅰ ﾂｰﾘｽﾞﾑ事情Ⅱ ﾂｱｰｶﾞｲﾄﾞ実務

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	服部　聡 （51） 〈平成31年4月〉 博士（政治学）	地域研究（北米圏）
兼任	講師	多田　智恵子 （67） 〈平成31年4月〉 教育学修士	教育相談
兼任	講師	岡田　忠義 （74） 〈平成31年4月〉 学士（教育学）	教職概論 学校経営論 特別活動の指導法 生徒・進路指導論 道徳教育の指導法 総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	小泉　園栄 （63） 〈平成31年4月〉 経営学士	航空実務 ﾂｰﾘｽﾞﾑ事情Ⅰ ﾂｰﾘｽﾞﾑ事情Ⅱ ﾂｱｰｶﾞｲﾄﾞ実務

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河合　篤史 （59） 〈令和3年4月〉 博士（学校教育学）	教育相談
兼任	講師	天野　義美 （74） 〈令和3年4月〉 文学士	特別活動の指導法
兼任	講師	常陰　則之 （66） 〈令和3年月〉 工学修士	総合的な学流の時間の指導法
兼任	講師	石井　豊彦 （64） 〈令和3年4月〉 文学士	教職概論 生徒・進路指導論
兼任	講師	平井正朗 （56） 〈令和3年4月〉 修士（文学）	学校経営論
兼任	講師	小泉　園栄 （64） 〈平成31年4月〉 経営学士	航空実務 ﾂｱｰｶﾞｲﾄﾞ実務

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河合　篤史 （60） 〈令和3年4月〉 博士（学校教育学）	教育相談
兼任	講師	天野　義美 （75） 〈令和3年4月〉 文学士	特別活動の指導法
兼任	講師	常陰　則之 （67） 〈令和3年月〉 工学修士	総合的な学流の時間の指導法
兼任	講師	平井正朗 （57） 〈令和3年4月〉 修士（文学）	学校経営論 教職概論
兼任	講師	小泉　園栄 （62） 〈平成31年4月〉 経営学士	航空実務 ﾂｱｰｶﾞｲﾄﾞ実務

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	尹　郁子 (53) 〈平成31年4月〉 修士（外国語教育学）	日本語Ⅰ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅰ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅱ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	倉地　博美 (48) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	生涯ｽﾎﾟｰﾂⅠ 生涯ｽﾎﾟｰﾂⅡ
兼任	講師	岡本　託 (41) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	近現代の歴史
兼任	講師	谷　圭佑 (27) 〈平成31年4月〉 修士（政治学）	国際社会と政治
兼任	講師	出嶋　陽介 (48) 〈平成31年4月〉 修士（法学）	日本国憲法
兼任	講師	今井　良一 (46) 〈平成31年4月〉 博士（農学）	環境と生活

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	尹　郁子 (53) 〈平成31年4月〉 修士（外国語教育学）	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅰ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅱ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	倉地　博美 (48) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	生涯ｽﾎﾟｰﾂⅠ 生涯ｽﾎﾟｰﾂⅡ
兼任	講師	岡本　託 (41) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	近現代の歴史
兼任	講師	谷　圭佑 (27) 〈平成31年4月〉 修士（政治学）	国際社会と政治
兼任	講師	出嶋　陽介 (48) 〈平成31年4月〉 修士（法学）	日本国憲法
兼任	講師	徳久　久美子 (53) 〈平成31年4月〉 文学修士	英米文学概論
兼任	講師	今井　良一 (46) 〈平成31年4月〉 博士（農学）	環境と生活

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	尹　郁子 (54) 〈平成31年4月〉 修士（外国語教育学）	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅰ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅱ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	倉地　博美 (48) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	生涯ｽﾎﾟｰﾂⅠ 生涯ｽﾎﾟｰﾂⅡ
兼任	講師	岡本　託 (42) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	近現代の歴史
兼任	講師	Bae Junsub (32) 〈令和2年4月〉 修士（政治学）	国際社会と政治
兼任	講師	出嶋　陽介 (49) 〈平成31年4月〉 修士（法学）	日本国憲法
兼任	講師	徳久　久美子 (54) 〈平成31年4月〉 文学修士	英米文学概論
兼任	講師	今井　良一 (47) 〈平成31年4月〉 博士（農学）	環境と生活

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	尹　郁子 (55) 〈平成31年4月〉 修士（外国語教育学）	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅰ ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語Ⅱ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	倉地　博美 (49) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	生涯ｽﾎﾟｰﾂⅠ 生涯ｽﾎﾟｰﾂⅡ
兼任	講師	岡本　託 (43) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	近現代の歴史
兼任	講師	Bae Junsub (33) 〈令和2年4月〉 修士（政治学）	国際社会と政治
兼任	講師	出嶋　陽介 (50) 〈平成31年4月〉 修士（法学）	日本国憲法
兼任	講師	徳久　久美子 (55) 〈平成31年4月〉 文学修士	英米文学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	尹　郁子 (56) 〈平成31年4月〉 修士（外国語教育学）	日本語Ⅲ
兼任	講師	倉地　博美 (50) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	生涯ｽﾎﾟｰﾂⅠ 生涯ｽﾎﾟｰﾂⅡ
兼任	講師	石井大輔 (47) 〈令和3年4月〉 博士（学術）	近現代の歴史
兼任	講師	金恩貞 (50) 〈令和4年4月〉 博士（政治学）	国際社会と政治
兼任	講師	出嶋　陽介 (51) 〈平成31年4月〉 修士（法学）	日本国憲法
兼任	講師	徳久　久美子 (56) 〈平成31年4月〉 文学修士	英米文学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森本　誠一 （41） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	生命と倫理
兼任	講師	浜野　孝 （71） 〈平成31年4月〉 学士（社会学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論
兼任	講師	中山　美佐子 （55） 〈平成31年4月〉 准学士（保育）	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅱ
兼任	講師	志田　未来 （31） 〈平成31年4月〉 修士（人間科学）	社会階層と文化
兼任	講師	上仲　淳 （54） 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	日本語Ⅳ 日本語Ⅴ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森本　誠一 （41） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	生命と倫理
兼任	講師	浜野　孝 （71） 〈平成31年4月〉 学士（社会学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論
兼任	講師	中山　美佐子 （55） 〈平成31年4月〉 准学士（保育）	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅱ
兼任	講師	志田　未来 （31） 〈平成31年4月〉 修士（人間科学）	社会階層と文化
兼任	講師	前田　達郎 （53） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	上仲　淳 （54） 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	日本語Ⅴ
兼任	講師	酒詰　悠太 （38） 〈平成31年4月〉 博士（人間・環境学）	倫理と社会生活

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森本　誠一 （42） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	生命と倫理
兼任	講師	浜野　孝 （72） 〈平成31年4月〉 学士（社会学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論
兼任	講師	中山　美佐子 （56） 〈平成31年4月〉 准学士（保育）	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅱ
兼任	講師	山本晃輔 （38） 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	社会階層と文化
兼任	講師	前田　達郎 （54） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	上仲　淳 （55） 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	日本語Ⅴ
兼任	講師	酒詰　悠太 （39） 〈平成31年4月〉 博士（人間・環境学）	倫理と社会生活

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	片山雅男 （65） 〈令和3年4月〉 理学修士	環境と生活
兼担	講師	加藤恵介 （62） 〈令和3年4月〉 修士（文学）	生命と倫理
兼任	講師	浜野　孝 （73） 〈平成31年4月〉 学士（社会学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論
兼任	講師	中山　美佐子 （57） 〈平成31年4月〉 准学士（保育）	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅱ ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
兼担	講師	山本晃輔 （39） 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	社会階層と文化
兼任	講師	前田　達郎 （55） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	上仲　淳 （56） 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	日本語Ⅳ 日本語Ⅴ
兼任	講師	酒詰　悠太 （40） 〈平成31年4月〉 博士（人間・環境学）	倫理と社会生活

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	片山雅男 （66） 〈令和3年4月〉 理学修士	環境と生活
兼担	講師	加藤恵介 （63） 〈令和3年4月〉 修士（文学）	生命と倫理
兼任	講師	浜野　孝 （74） 〈平成31年4月〉 学士（社会学）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論
兼任	講師	中山　美佐子 （58） 〈平成31年4月〉 准学士（保育）	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅰ 仕事とｷｬﾘｱ形成Ⅱ ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
兼担	講師	山本晃輔 （40） 〈令和2年4月〉 修士（人間科学）	社会階層と文化
兼任	講師	上仲　淳 （57） 〈平成31年4月〉 博士（言語文化学）	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ１ ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ１ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅰ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ日本語Ⅱ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ 日本語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ 日本語Ⅴ
兼任	講師	酒詰　悠太 （41） 〈平成31年4月〉 博士（人間・環境学）	倫理と社会生活

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	齋藤　修 （69） 〈平成31年4月〉 法学博士	人権と法
兼任	講師	大東　直樹 （28） 〈平成31年4月〉 修士（国際学）	地域研究（アジア圏）
兼任	講師	山中　美佳 （47） 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本文化論
兼任	講師	橋本　堂史 （51） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	食と健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	齋藤　修 （70） 〈平成31年4月〉 法学博士	人権と法
兼任	講師	山中　美佳 （48） 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本文化論
兼任	講師	橋本　堂史 （52） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	食と健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐橋　謙一 （45） 〈令和3年4月〉 修士（法学）	人権と法
兼任	講師	山中　美佳 （48） 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本文化論
兼任	講師	橋本　堂史 （53） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	食と健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐橋　謙一 （46） 〈令和3年4月〉 修士（法学）	人権と法
兼任	講師	山中　美佳 （49） 〈平成31年4月〉 修士（日本文学）	日本文化論
兼任	講師	橋本　堂史 （54） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	食と健康

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・平成31年4月渡邊頼純教授が学部長に就任。このため越山泰子教授が学科長に変更。
・Jonathan Aliponga教授の就任辞退による専任補充のため、平成31年4月百濟正和教授とPatric Shorb教授が就任。

【令和２年度】

特になし

【令和３年度】

・令和3年3月　J. Paul Marlowe　准教授が退任
・J. Paul Marlowe　准教授退任の補充並びに収容定員増に対する対応のため、令和3年4月　遠藤泰生教授、Jonathan Aliponga教授が就任。

【令和４年度】

・令和4年4月　芦沢真五教授が就任
・横山雅彦准教授他学部へ異動

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B’）
4	4	1	0	9	0	11	0	0	0	11	0
（４）	（４）	（１）	（０）	（９）	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D’）
11	0	0	0	11	0	11	0	0	0	11	0
［７］	［△4］	［△1］	［０］	［２］	［０］	［７］	［△4］	［△1］	［０］	［２］	［０］

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{11}{9} = \boxed{122.22}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{2}{11} = \boxed{18.18}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C’）}}{\text{設置時の計画（A’）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{\#DIV/0!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	講師	井上　加寿子	H31.3	選択	リーディング1	②	H31.3教員組織調整による担当者の変更（元）
				必修	仕事とキャリア形成Ⅰ	②	
				選択	仕事とキャリア形成Ⅱ	②	
				必修	学習技術	①	
				選択	ICTリテラシー	①	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
1　人	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0 科目
	選択	3	科目	選択	1	科目	選択	2	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	5	科目	計	2	科目	計	3	科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	J. Paul Marlowe	R3.31	必修	英語総合1	①	R3.3.31自己都合退職（R3）
				必修	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合1	①	
				必修	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合1	①	
				必修	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1	①	
				必修	英語総合2	①	
				必修	ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ総合2	①	
				必修	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ総合2	①	
				必修	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	評価と実践Ⅱ	①	

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
1　人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー③　上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2　人	必修	12	科目	必修	11	科目	必修	1	科目	必修	0 科目
	選択	3	科目	選択	1	科目	選択	2	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	15	科目	計	12	科目	計	3	科目	計	0 科目

（３）ー④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{\text{(3)ー③合計(D)+(F)}}{\text{(2)ー②設置時の計画(A)}} = \frac{2}{9} = \boxed{22.22}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）ー⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

（注）・（３）ー①、（３）ー②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		なし				

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今年度は専任教員交代がなかったが、専任教員の交代に関する学生への周知方法は、リフレクションディやゼミ、ＷＥＢなどを通じて行っている。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
届　出　時 （平成30年）	該当なし				
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和元年）	該当なし				
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和2年）	前年度の退学者の割合が16.07%（退学者：9人）と非常に高い状況になっているが、その退学理由を踏まえて、大学が講じている、もしくは講じる予定の方策について具体的に説明すること。また、大学側での在学生に対する学修支援・生活支援策として、具体的にどのようなことを日常的におこなっているか併せて説明すること。		IRによる調査の結果、退学者における入試種別に偏りがあったため、当該入試種別における試験方法(英語力の判別を行う）の見直しを行った。その結果令和2年度入学生においては、1人の退学となり改善が図られている。またこの状況を維持するために、退学理由に基づく各施策を継続的に実施し、三つのポリシーに基づいた運営の徹底を図っている。	履行済	引き続き入学試験における英語力の判別を行い、教育課程にあった学生の獲得を目指すとともに、退学防止の施策を継続的に実施する。
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和3年）	比較的高い割合で退学者が発生していることから、退学等の理由を踏まえた退学者等の減少のための効果的な取組を着実に実行すること。	指摘事項 （改善）	IRによる調査の結果、退学者における入試種別に偏りがあったため、当該入試種別における試験方法(英語力の判別を行う）の見直しを行った。その結果令和2年度入学生の退学率については大きく減少している。	履行済	
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和４年）	特になし				

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜国際コミュニケーション学部　英語コミュニケーション学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①　修了要件単位数 126単位（必修科目54単位、選択必修科目52単位、選択科目20単位）	①　学生の専門性をより高めるため、選択科目（１科目２単位）を４科目追加（修了要件単位数は変更なし）。 （「様式２授業科目の概要」(1)-①授業科目表を参照）
②　施設・設備 専任教員研究室　１４室	②　専任教員数の増加により、１６室に変更。
③　収容定員変更 収容定員　200人　→　300人	③　収容定員を200人から300人へ変更した

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、ＦＤ及びＳＤ活動はＰＤとして、教員の資質向上については教育開発委員会が、職員の資質向上については人財育成課が中心となり進めている。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。

ｃ　委員会の審議事項等

・学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及に関する事項
・授業のアンケートに関する事項
・シラバスに関する事項
・ルーブリックに関する事項
・ＰＤ（ＦＤ及びＳＤ）に関する事項
・卒業研究登録資格認定試験に関する事項

②　実施状況

ａ　実施内容

オンラインでも「学生が学べる」環境を整える

2021 年 4 月にスタートした 3 キャンパス新体制において、改めて①全学部・学科が本学の教育の特色（「組織的な教育」「重層構造の学生サポートの仕組み」「学修成果の可視化」「アドバイザーとの面談や『ふりかえり』による個別指導・支援」など）を共有することを目指す、また、②コロナ禍の下でも、これらの教育システムに基づいた教育活動が遂行できるように各学科における課題と対応方策を見出すことを目指す。

ｂ　実施方法

・ワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等

例
・学生の状況に関するデータ共有と分析
・オンライン・対面での ICT ツールの活用方法／グループワーク手法に関するワーク
・特別講演　「まなぶとはたらくをつなぐこと　～キャリア教育の実践から～」深澤晶久　実践女子大学　学長補佐・教授
・講演　「教育DX と『未来の教室』の姿を考える」浅野大介　経済産業省サービス政策課長・教育産業室長

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

第1回ＰＤ　8月19日・20日
第2回ＰＤ　9月16日
第3回ＰＤ　2月17日・18日
全てのPDで全教員の90%以上の参加があった。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

神戸山手大学と合併し、３キャンパス体制となり、コロナ対応も含めて、本学の教育実施体制に対する課題について、学部・学科・教員間での共有は図られたと考えている。また、コロナ禍において進展した遠隔授業の方法を用いて、より本学の教育活動を展開する方法等についても共有することができた。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

・各学期ごとに中間および期末の授業評価を実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

①　体制

ａ　委員会の設置状況

該当なし

ｂ　委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

ｃ　委員会の審議事項等

該当なし

ｄ　その他

該当なし

②　審議状況

ａ　審議した内容

該当なし

ｂ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

ｃ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に基づき、専門知と経験知の往還により実際の現場で必要となる能力の習得を行うため、教室外学修機会の充実、アクティブラーニングの教育方法を取り入れることを推進している。学生募集及び退学率については、学科設置時より留意し、更なる教育内容の充実や学生募集活動により安定した学科運営を目指していく。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・令和４年７月１日　公表

ｂ　公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行

・大学ホームページ上に公開予定（令和３年７月を予定）

③　認証評価を受ける計画

・令和４年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定としている。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和４年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕

ｃ　公表方法　〔　ウェブサイトへの掲載　・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

関西国際大学高等教育研究開発センター規程

（趣　旨）

第１条　この規程は、学校法人濱名山手学院組織規程第3条第1項第1号に規定する関西国際大学高等教育研究開発センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

（目　的）

第２条　センターは、関西国際大学（以下「本学」という。）の教育・研究の改善に関する事項を取り扱い、もって本学の教育の発展・向上に資することを目的とする。

（所掌業務）

第３条　センターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1)　教育改善に関する事項

(2)　研究等の支援に関する事項

(3)　ＰＤ（Professional Development）に関する事項

(4)　関西国際大学研究紀要に関する事項

(5)　初年次教育に関する事項

(6)　メディア教育に関する事項

(7)　教育改革委員会の運営支援に関する事項

(8)　初年次教育委員会の運営支援に関する事項

(9)　メディア教育委員会の運営支援に関する事項

(10) その他前条の目的を達成するために学長が必要と認めた事項

（部　門）

第４条　センターに、次に掲げる部門を置き、部門長が業務を掌理する。

(1)　教育開発部門

(2)　初年次教育部門

２　教育開発部門は、前条第１号、第３号、第６号及び第８号に掲げる業務を行う。

３　初年次教育部門は、前条第５号、第７号及び第８号に掲げる業務を行う。

(3)　メディア教育部門

２ 教育開発部門は、前条第１号、第３号、第７号及び第１０号に掲げる業務を行う。

３ 初年次教育部門は、前条第５号、第８号及び第１０号に掲げる業務を行う。

４ メディア教育部門は、前条第６号、第９号及び第１０号に掲げる業務を行う。

（組　織）

第５条　センター長、センター長代理、教育開発部門長、初年次教育部門長及びメディア

教育部門長には、学長が任命する教育職員をもってあてる。

（事務局）
第６条　センターに関する事務は、教務課がこれを所掌する。

（改　廃）
第７条　この規程の改廃は、大学協議会の議を経て学長が決定し、これを行うものとする。

附　則
この規程は、平成２０年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２１年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２３年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２４年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２６年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２７年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成３０年４月１日から施行する。
附　則
この規程は、２０２０（令和２）年４月２日から施行する。

関西国際大学初年次教育委員会規程

第１条　この規程は、関西国際大学学則第５０条の２の規定に基づき、関西国際大学（以下「本学」という。）初年次教育委員会（以下「本委員会」という。）の組織及び運営、その他必要な事項について定める。

第２条　本委員会は、次の事項について審議する。

（１）　本学初年次教育の内容に関する事項

（２）　本学初年次教育の教育方法・教材開発に関する事項

（３）　本学初年次教育のコーディネート・調整に関する事項

（４）　初年次教育の研修内容・方法・研究成果の情報収集に関する事項

（５）　本学における専門教育と初年次教育に関する事項

（６）　その他学長の諮問事項及び初年次教育に関する事項

第３条　本委員会は、学長が指名する専任職員をもって構成する。

２　委員の任期は１年とし、再任を妨げない。

３　委員の定数については学長が定める。

第４条　本委員会に、委員長をおく。

２　委員長は、学長が指名する。

３　委員長は、本委員会を招集し、その議長をつとめる。

４　委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名を受けた委員が代行するものとする。

５　委員長は、必要に応じて委員以外の職員に出席を要請し、意見を求めることができる。

第５条　本委員会の円滑な運営のため、各キャンパス毎に部会を置く。

２　部会に副委員長を置くことができる。

３　副委員長は、本委員会委員のうちから当該キャンパスの教育職員をあてるものとする。

４　部会は、第２条の審議事項のうち本委員会の委嘱を受けた事項を審議する。

第６条　本委員会に関する事務は、教務課がこれを所掌する。

第７条　この規程の改廃は、大学協議会の議を経て学長が決定し、これを行うものとする。

附　則

この規程は、平成１７年５月２５日から施行する。

附　則

この規程は、平成２０年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成３０年４月１日から施行する。